

—生きていけない—

## 追い詰められる仮放免者 仮放免者生活実態調査報告

2022年1月

特定非営利活動法人 北関東医療相談会



## 調査の概要

### ■目的

- ・本調査の目的は、データで仮放免者の生活実態を示すこと。
- ・本調査は、日本で初めて仮放免者の生活実態調査を行い、データに基づいて仮放免者の生活実態を明らかにした。

### ■結果

#### ①日本に長く暮らし、働ける年齢層の仮放免者

- ・調査回答者の87%が20～50代の働ける年齢層の者。
- ・調査回答者のうち、帰化要件（5年）以上の滞在年数の者は84%、永住許可要件（10年）以上の者は66%、20年以上の者は36%、30年以上の者は16%となっており、他の調査と比較して滞在年数が長い者が多い。
- ・調査回答者の24%が有子世帯。

#### ②食料の確保が困難な仮放免者

- ・生活状況をとても苦しい・苦しいと答えている者は他の調査の2.1倍。
- ・食事状況をとても苦しい・苦しいと答えている者は6.1倍
- ・食事回数を1回と答えている者は8倍。

#### ③住居の維持・確保が困難な仮放免者

- ・家賃の負担感をとても苦しい・苦しいと答えている者は他の調査の1.5倍。
- ・低い家賃で暮らしている者が多く、家賃滞納をしている者は19倍。
- ・ガス水光熱費の滞納をしている者は10.3～11.3倍。

#### ④医療を受けられない仮放免者

- ・経済的問題により医療機関を受診できないと答えている者は他の調査の4.2～105倍。
- ・79%の者が経済的余裕があれば治療したい病気やケガがあると回答。

#### ⑤社会生活を営むことが困難な仮放免者・教育を受けることが困難な子ども

- ・服・靴購入費の負担感をとても苦しい・苦しいと答えている者は他の調査の5.3倍。
- ・生理用品購入費の負担感をとても苦しい・苦しいと答えている者は3.4倍。
- ・子どもの教育費の負担感をとても苦しい・苦しいと答えている者は1.4倍。
- ・携帯電話料金の負担感をとても苦しい・苦しいと答えている者は1.6倍。
- ・交通費の負担感をとても苦しい・苦しいと答えている者が85%。

#### ⑥収入を確保することが困難な仮放免者・コロナ禍によるさらなる生活困窮

- ・年収0円の者は70%、90万円以下の者は86%。
- ・借金があると答えている者は他の調査の2.3倍。
- ・コロナの影響で生活が苦しくなったと答えた者は85%。

## ■提言

### ①就労を認めること

- ・仮放免者が、食事・家賃・医療の確保、社会生活を営むことが困難な理由は、就労ができず収入を得ることができないため。
- ・就労許可を出すことが仮放免者の命と生活を維持するための最も効果的かつ合理的な手段。

### ②国民健康保険など医療保険の加入を認めること

- ・仮放免者の多くが医療を受けられない原因は、上記①に加えて、仮放免者は国民健康保険など医療保険に加入できず、全額自己負担の医療費を支払わなければならないこと。
- ・仮放免者は、他の被保険者と同様に保険料を納め、納められない場合は減免措置が行われるべき。

### ③無料低額診療事業を行う医療機関への支援・未払補填事業の整備拡充を行うこと

- ・仮放免者を受け入れている医療機関があるが、そこで生じた医療費は原則医療機関負担となり、医療機関の経営に影響を及ぼす可能性がある。
- ・これらの対応は、仮放免者の命と生活を維持するためだけでなく、医療機関の経営を維持するためにも必要。

### ④生活保護法を適用すること

- ・国は、生活に困窮し、命や生活の危機に瀕している仮放免者にも「最後のセーフティネット」として生活保護法を適用すべき。

## 目次

### 1.はじめに ーなぜ仮放免者生活実態調査が必要なのかー

### 2.調査方法

### 3.調査結果

#### (1) 調査回答者本人のこと

- ①年齢・性別・国籍
- ②滞在年数・仮放免年数
- ③世帯人数・世帯構成
- ④支援者の有無

#### (2) 生活・食事の状況

- ①生活状況
- ②食事状況

#### (3) 住居のこと

- ①家賃の負担感
- ②家賃額・家賃滞納
- ③ガス水光熱費滞納

#### (4) 医療のこと

- ①医療費の負担感・経済的問題により医療機関を受診できないことの有無
- ②治療中の病気やケガ・経済的余裕があれば治療したい病気やケガ

#### (5) その他生活のこと

- ①服・靴購入費の負担感
- ②生理用品購入費の負担感
- ③子どもの教育費の負担感
- ④携帯電話料金の負担感
- ⑤交通費の負担感

#### (6) 所得・借金のこと、コロナのこと

- ①所得の状況
- ②借金の状況
- ③コロナによる影響

### 4.仮放免調査で明らかになったこと・仮放免者施策の提言

#### (1) 仮放免調査で明らかになったこと

- ①日本に長く暮らし、働ける年齢層の仮放免者
- ②食料の確保が困難な仮放免者
- ③住居の維持・確保が困難な仮放免者

- ④医療を受けられない仮放免者
- ⑤社会生活を営むことが困難な仮放免者・教育を受けることが困難な子ども
- ⑥収入を確保することが困難な仮放免者・コロナ禍によるさらなる生活困窮

## (2) 仮放免者施策の提言

- ①就労を認めること
- ②国民健康保険など医療保険の加入を認めること
- ③無料低額診療事業を行う医療機関への支援・未払補填事業の整備拡充を行うこと
- ④生活保護法を適用すること

## 5.参考資料

### (1) 自由記述

- ①仮放免者は国から働いてはいけないと言われていました。また、生活保護のような公的保障を受けることもできません。お金がなく、生活に困ったとき、どう対処していますか？
- ②コロナの前と後で生活は苦しくなりましたか？その理由。
- ③いま困っていること・将来の希望や考えはありますか？

### (2) 調査票

- ①日本語
- ②英語
- ③フランス語
- ④スペイン語

## 謝辞

## 1.はじめに なぜ仮放免者生活実態調査が必要なのか

「わたし、ホームレスよ」

仮放免者でカメルーン人女性のマイさん。2020年11月、マイさんは家賃を支払えず家を失った。この時マイさんは末期ガンだった。マイさんは末期ガンの状態で、友人宅やネットカフェ、ラブホテルを転々としていた。各公的機関に問い合わせたが何の救いの手もなかった。その後、複数の支援者の尽力で命をつないだが、翌年1月23日に亡くなった。42歳だった<sup>1</sup>。

「自殺を勧められている」

仮放免者で南アジア出身男性のKさん。大学在学中に反政府デモに参加したことで帰国できなくなった。日本に逃れてきてから15年ほど経つ。その間、本国の兄が支援していたがコロナで亡くなってしまった。各公的機関に問い合わせたが何の救いの手もなかった。咳が止まらない。苦しい。めまいがする。吐いてしまう。手が震える。体全部が痛い。食べ物は無い。水も飲めない日が続いた。アパートの大家が来て、部屋にある衣服を全部道路に投げ出した。「家賃払わないと殺すぞ」と言われた。同国人に支援を頼んだが、食べ物も飲み物ももらえなかった。「自殺するのが一番楽な方法だ」と言われた。Kさんは「兄と一緒に死んでしまいたい」と言っていた。

仮放免者の生活は極めて深刻な状況であり、一言でいえば「生きていけない状況」です。こうした深刻な状況は今すぐに改善されなければなりません。しかし、こうした状況を知っているのは仮放免当事者と支援者に限られています。多くの人は仮放免者の置かれている状況はもちろんのこと、「仮放免」という言葉さえも知らない状況です。

こうした状況を踏まえて、私たち外国人支援団体は個別ケースを通じて仮放免者の深刻な状況を伝えてきました。そうしたこともあり、この間、仮放免者に関する報道は徐々に増えてきました。しかし、仮放免者の状況を示すデータは存在しませんでした。個別事例とともにデータを示すことができれば仮放免者に必要な施策を示すことができます。

そこで、私たち北関東医療相談会は「仮放免者生活実態調査」を行いました。同調査の特徴は、①日本で初めて仮放免者の生活実態調査を行ったこと、②データに基づいて仮放免者の生活実態を明らかにしたこと、です。私たちは同調査を通して仮放免者の状況を多くの人に伝えるとともに、今必要とされている仮放免者施策を提示します。

---

<sup>1</sup> 2021年4月9日 毎日新聞「死の直前『漢字勉強したい』カメルーン出身者は救えなかったのか」<https://mainichi.jp/articles/20210408/k00/00m/040/291000c>.

## 2.調査方法

「仮放免者生活実態調査（以下、仮放免調査という）」の調査地域は日本全国を対象としました。調査時期は2021年10月～12月です。この時期に仮放免状態である人を対象に行いました。調査方法は調査票（5.「参考資料」を参照）を調査対象者に郵送し、名前は記入せず匿名にし、調査者（北関東医療相談会）が誰がどのような内容で回答したかわからない状態にしたうえで、調査回答者が返信用封筒にて返信する方法で行いました。調査票は日本語、英語、フランス語、スペイン語の4言語対応としました。

調査対象者の選定については、北関東医療相談会が支援している仮放免者、他の外国人支援団体・支援者が支援している仮放免者、仮放免当事者から紹介のあった仮放免者に調査票を郵送しました。450件（世帯）に郵送しました。回収率は31.3%（141件）でした。

2020年12月末現在の仮放免者は3061人（退去強制令書によるもの）であり<sup>2</sup>、調査に回答した仮放免者は仮放免者全体の4.6%でした。

表1 調査方法の概要

調査地域	全国
調査期間	2021年10月～12月
調査対象者	調査期間中に仮放免状態である者
調査方法	郵送配布-郵送回収（日本語・英語・フランス語・スペイン語対応）、匿名調査
調査対象者の選定方法	北関東医療相談会・その他外国人支援団体や支援者・仮放免当事者から紹介
配布数・回収率	450件・31.3%（141件）

---

<sup>2</sup> 法務省「出入国管理統計」[https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei\\_ichiran\\_nyukan.html](https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei_ichiran_nyukan.html)。

### 3.調査結果

#### (1) 調査回答者本人のこと

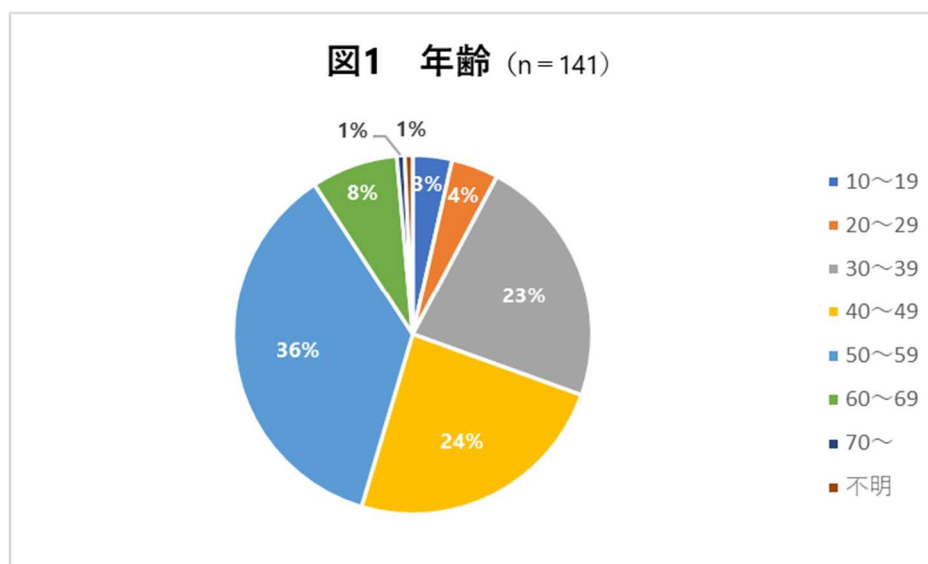
ここでは、仮放免調査回答者の年齢・性別・国籍、滞在年数・仮放免年数、世帯人数・世帯構成、支援者の有無を示します。ここでのポイントは、仮放免調査の回答者は他の調査と比較して、滞在年数が長く、帰化要件（5年位以上）や永住要件（10年以上）を超える者が多いこと。世帯構成について単身世帯以外の世帯や有子世帯が多く存在することです。

#### ①年齢・性別・国籍

調査回答者の年齢は、10代3%、20代4%、30代23%、40代24%、50代36%、60代8%、70代以上1%でした。20代から50代で全体の87%を占めています。なお、法務省出入国在留管理庁発表資料<sup>3</sup>では、仮放免者は2019年6月末現在、10代以下13%、20代9%、30代27%、40代28%、50代19%、60代以上4%となっており、20代から50代で全体の83%を占めています。

調査回答者の性別は、男性64%、女性33%、その他1%でした。なお、入管発表資料では、男性74%、女性26%でした。

調査回答者の国籍は合計27か国でした。上位10か国は、イラン13%、カメルーン12%、ナイジェリア10%、フィリピン9%、スリランカ9%、ガーナ7%、コンゴ民主共和国5%、中国4%、ミャンマー4%、パキスタン4%でした。なお、入管発表資料では、トルコ17%、フィリピン12%、イラン9%、スリランカ9%、ミャンマー6%、パキスタン5%、ナイジェリア5%、中国5%、ペルー3%、ブラジル3%でした。



<sup>3</sup> 法務省出入国在留管理庁 2019年11月25日「第3回 収容・送還に関する専門部会『被退令仮放免者に関する統計』」[https://www.moj.go.jp/isa/policies/policies/nyuukokukanri03\\_00001.html](https://www.moj.go.jp/isa/policies/policies/nyuukokukanri03_00001.html)。



図2 性別 (n = 141)

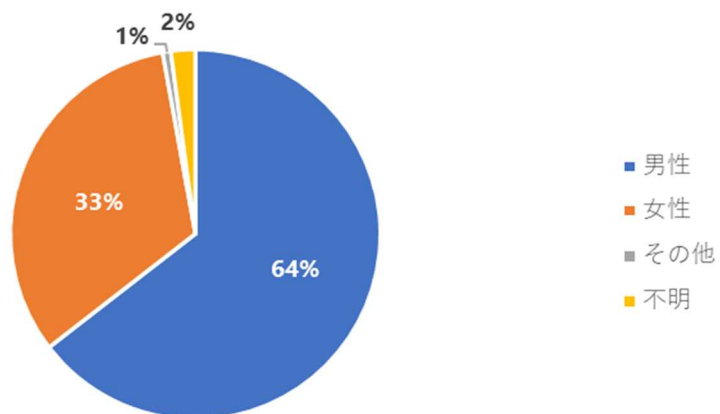


表2 国籍 (n=141) (人)

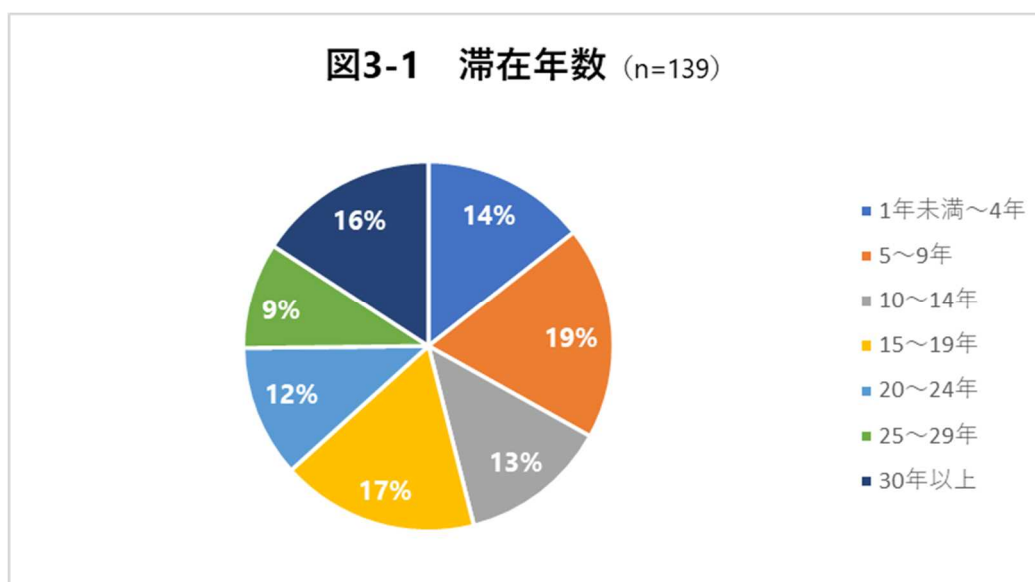
イラン	19
カメルーン	17
ナイジェリア	14
フィリピン	13
スリランカ	13
ガーナ	10
コンゴ民主共和国	7
中国	5
ミャンマー	5
パキスタン	5
ネパール	4
ベトナム	3
ペルー	3
セネガル	2
ウガンダ	2
ブルキナファソ	2
インド	2
バングラデシュ	2
ブラジル	2
マリ	1
ギニア	1
ラオス	1
タイ	1
アフガニスタン	1
コロンビア	1
チリ	1
米国	1
不明	3

## ②滞在年数・仮放免年数

調査回答者の日本滞在年数は、1年未満～4年14%、5～9年19%、10～14年13%、15～19年17%、20～24年12%、25～29年9%、30年以上16%でした。

国籍法では帰化要件のひとつに「引き続き5年以上日本に住所を有すること」が示されています<sup>4</sup>。また、永住許可に関するガイドラインには永住許可要件のひとつに「原則として引き続き10年以上本邦に在留していること」が示されています<sup>5</sup>。調査回答者のうち、帰化要件（5年）以上の滞在年数の者は84%（119名）、永住許可要件（10年）以上の者は66%（93名）、20年以上の者は36%（51名）、30年以上の者は16%（22名）でした。

なお、表3に示したように、仮放免調査は他の調査と比較して、滞在年数が長い者が多いことがわかりました。



<sup>4</sup> 国籍法第5条第1項第1号。

<sup>5</sup> 出入国在留管理庁「永住許可に関するガイドライン（令和元年5月31日改定）」[https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyukan\\_nyukan50.html](https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyukan_nyukan50.html)。

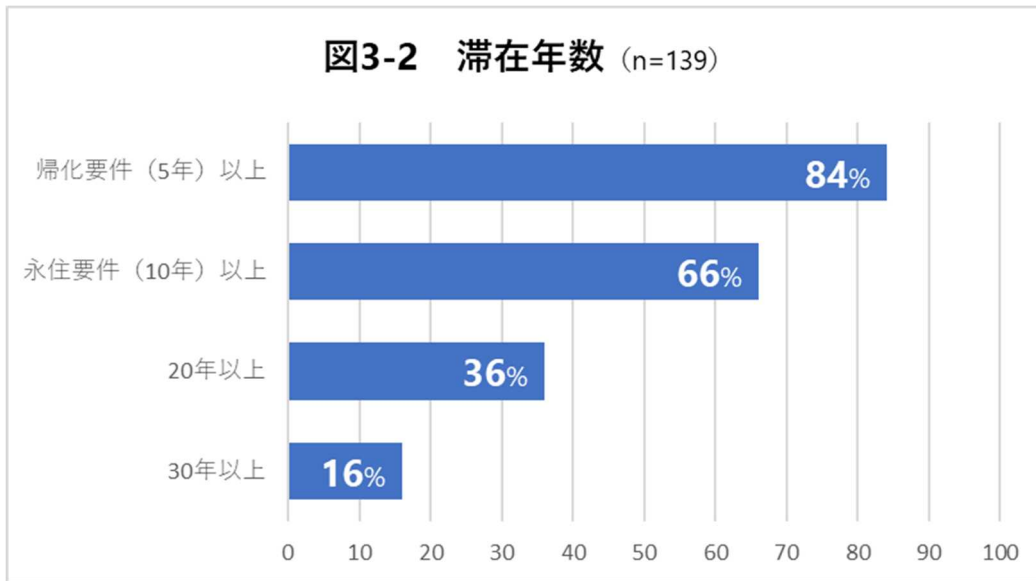


表3 滞在年数に関する調査

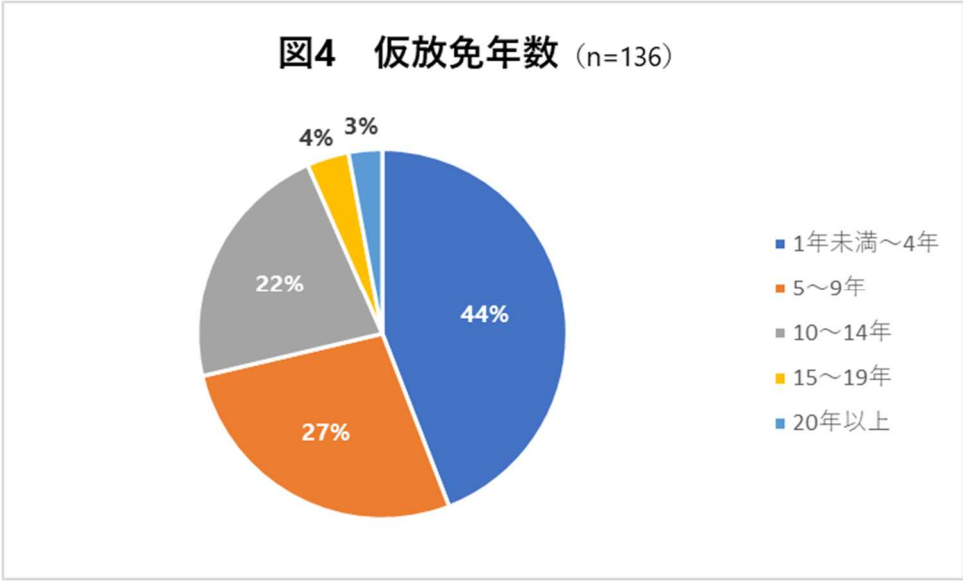
調査者	調査年	回答件数	滞在年数 (%)				
			帰化要件 (5年) 以上	永住要件 (10年) 以上	20年以上	30年以上	生まれてからずっと
北関東医療相談会	2021年	139	84	66	36	16	-
出入国在留管理庁	2020年	1502	66.2※	33.8	13.5	3.0	6.0
外国人集住都市会議 群馬・静岡ブロック	2020年	1220	56.7	47.0	25.0	4.4	-
福岡県	2020年	1484	47.8	26.9	-	-	-
木更津市	2020年	401	70.5	60.5	35.1	15.4	-
川崎市	2019年	1085	63.8※※	39.4	16.3	-	9.5

出入国在留管理庁「令和2年度 在留外国人に対する基礎調査報告書」、外国人集住都市会議 群馬・静岡ブロック「外国人集住都市会議 群馬・静岡ブロック調査（新型コロナウイルスと災害等の情報伝達に関する調査）報告書」、福岡県「福岡県在住外国人 アンケート調査報告書」、木更津市「木更津市外国人市民対象アンケート調査報告書」、川崎市「外国人市民意識実態調査報告書」より作成。

※3年以上の滞在期間の統計。  
 ※※4年以上の滞在期間の統計。

調査回答者の仮放免年数は、1年未満～4年 44%、5～9年 27%、10～14年 22%、15～19年 4%、20年以上 3%でした。なお、入管発表資料では、1年未満～4年 57%、5～9年 37%、10年以上 7%となっており、仮放免調査は入管発表資料と比較して、仮放免年数が多いことがわかりました。

ただし、これら調査は総仮放免期間ではなく、収容が解かれてから今現在に至るまでの期間であることに注意が必要です。



**③世帯人数・構成**

調査回答者の世帯人数は、1人40%、2人26%、3人12%、4人9%、5人以上13%でした。また、調査回答者の世帯構成は、単身40%、夫婦・パートナー36%、母子世帯5%、親族と同居2%、友人・知人と同居16%、その他1%でした。有子世帯は24%でした。

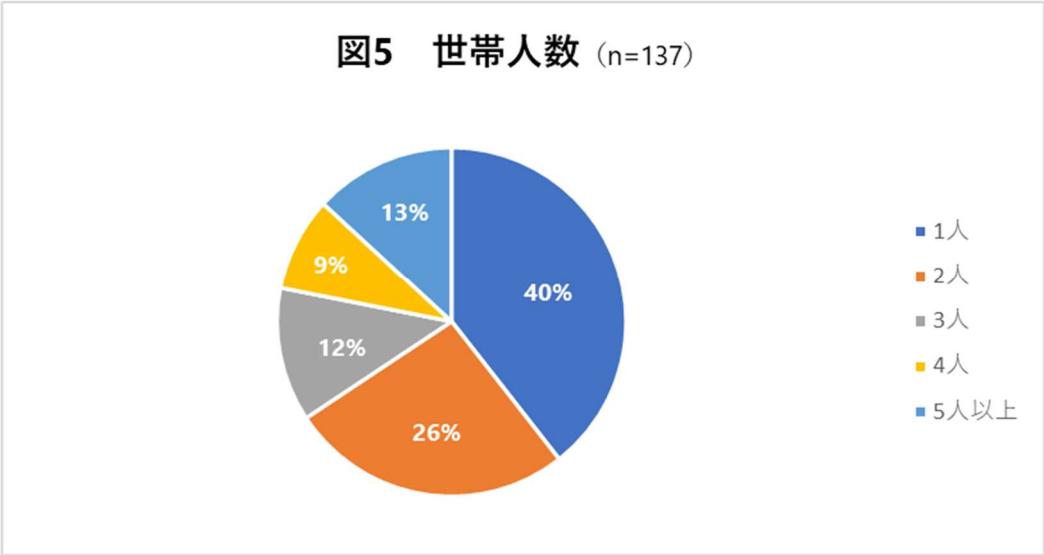


図6 世帯構成 (n=135)

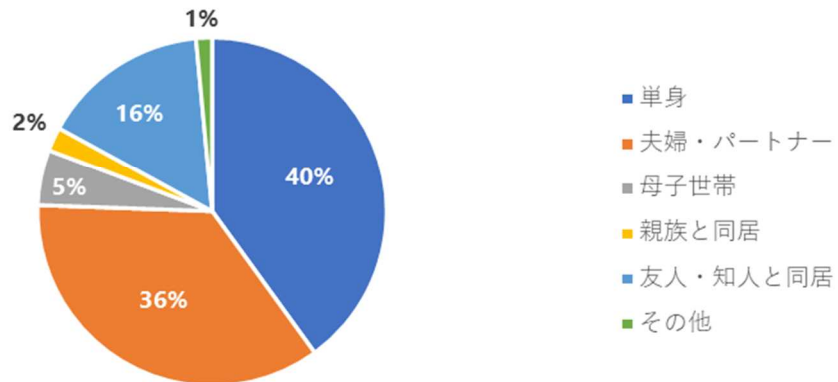


表4 世帯構成 (n=135)

単身	54	有子世帯 33 (24%)
夫婦・パートナー	48	
夫婦	19	
夫婦・子1人	8	
夫婦・子2人	6	
夫婦・子3人	9	
夫婦・子4人	1	
夫婦・義母	1	
夫婦・義母・子1人	1	
夫婦・家族	1	
パートナー	1	
パートナー・子1人	1	
母子世帯	7	
母・子1人	4	
母・子2人	3	
親族と同居	3	
友人・知人と同居	21	
その他	2	
保証人	1	
施設	1	

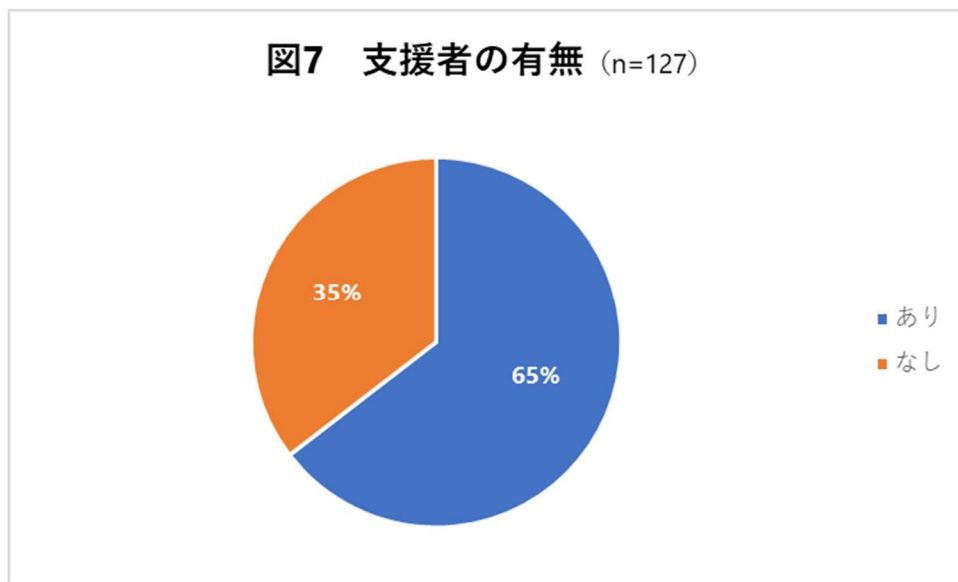
#### ④支援者の有無

調査回答者を支援する人の有無は、あり 65%、なし 35%であり、仮放免調査の回答者は必ずしも支援に繋がっているというわけではないことがわかりました。

・人に物乞いをしに回るのが非常につらい。教会やアフリカの友人がずっと私を援助してくれてきたが、友人らは私がいつもお願いに行くのにうんざりしており、それでイライラしてしまう。この状況で何とかやっけていこうとするのはストレスがたまり、自殺したくなる。  
(50代女性)

・友人に助けを求めるが、いつも得られるわけではなく難しい。友人を訪ねてもほとんどの場合、何も得られないまま帰ることになる。常に自殺願望がある。(50代男性)

図7 支援者の有無 (n=127)



## (2) 生活・食事の状況

ここでは、仮放免調査回答者の生活状況、食事状況を示します。ここでのポイントは、仮放免調査は他の調査と比較して、生活状況を苦しいと答えている者が多いこと、食事状況を苦しいと答えている者が多いこと、食事回数が少ない者が多いことです。

### ①生活状況

調査回答者の生活状況は、とても苦しい43%、苦しい46%、普通10%、余裕がある1%、とても余裕がある0%であり、とても苦しい・苦しいが全体の89%を占めました。なお、厚生労働省「家庭の生活実態及び生活意識に関する調査<sup>6</sup>」によると、2019年7月現在、自身の生活程度を下としている者(世帯)は10.7%、中の下31.6%、中の中46.3%、中の上8.5%、上0.9%、無回答1.9%でした。仮放免調査では、生活状況をとても苦しい(下)・苦しい(中の下)と答えている者は厚労省調査の2.1倍でした。

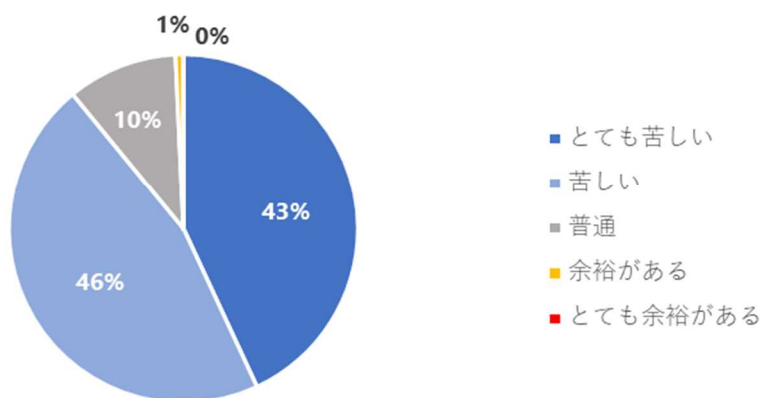
・何もできることがなく、がまんばかりの生活です。(40代男性)  
・生活大変。法律のルールで仕事できない。なので、収入がない。食事も足りない。病気の時もお金ない。そろそろ冬になる。お金ないから暖かい服買えない。それが怖い。(20代)

<sup>6</sup> 厚生労働省「家庭の生活実態及び生活意識に関する調査」[https://www.mhlw.go.jp/toukei/lis/t/katei\\_seikatsuishiki\\_h22.html](https://www.mhlw.go.jp/toukei/lis/t/katei_seikatsuishiki_h22.html)。

男性)

- ・普通の生活ができません、どうやって生きるの？子供いる家族もっと苦しいです。病気になる人も大変…。死ぬしかない、自分の国にも帰れないから。仮放免者は本当に苦しくて恥ずかしいな生活です。(50代男性)
- ・お昼に塩むすびしか食べられないときも数多くあります。夜のご飯はスーパーで半額シールが貼る時間まで待って、それを買ってきて食べます。賞味期限が近くなったカップラーメンをセールの際に買ってきて、ストックして、それを食べることも多いです。光熱費を節約するために2週間に1回しかシャワーしません。タオルで体を拭くしかありません。冬寒くても暖房を使わず、布団に入って頭から毛布をかぶって寝ます。洗濯も回数を減らすため、洋服をたくさん集めてから1回でしています。(40代男性)
- ・助けてくれる代わりに私と寝ることを要求する男がいます。(40代女性)

図8 生活状況 (n=137)



## ②食事状況

調査回答者の食事状況は、とても苦しい27%、苦しい38%、普通34%、余裕がある1%、とても余裕がある0%であり、とても苦しい・苦しいが全体の65%を占めました。なお、厚労省調査では「過去1年の間にお金が足りなくて家族が必要とする食料が買えないことがありましたか」とする質問について、何度もあった2.4%、時々あった7.7%、ほとんど無かった26.6%、まったく無かった62.1%、無回答1.2%との結果でした。仮放免調査では、食事状況をとても苦しい(何度もあった)・苦しい(時々あった)と答えている者は厚労省調査の6.1倍でした。

調査回答者の食事回数は、1回16%、2回60%、3回以上24%でした。なお、厚労省調査では「1日に2回(2食)以上食事をしていますか」とする質問について、2回以上食事していない2%(金銭的余裕がないから2回以上食事していない0.5%)との結果でした。仮放免調査では、食事回数を1回と答えている者は厚労省調査の8倍でした。

- ・生活すごく大変で、お金節約するため、毎日1食しか食べていない。その1回の食分量は2回分に分けて、1回は今日分、もう1回は明日分。食料少ないので、かわりに毎日水を飲む。お腹すかないために。(20代男性)
- ・まったく何一つ食べるものがない極端な状況になると、同じカメルーン人に助けを求める。でも自分はお荷物だなあと感じて、恥を感じる。(30代男性)
- ・パンや卵や他の物を買うためのたった500円を何とか得るのにも本当に苦労します。(60代男性)

図9-1 食事状況 (n=137)

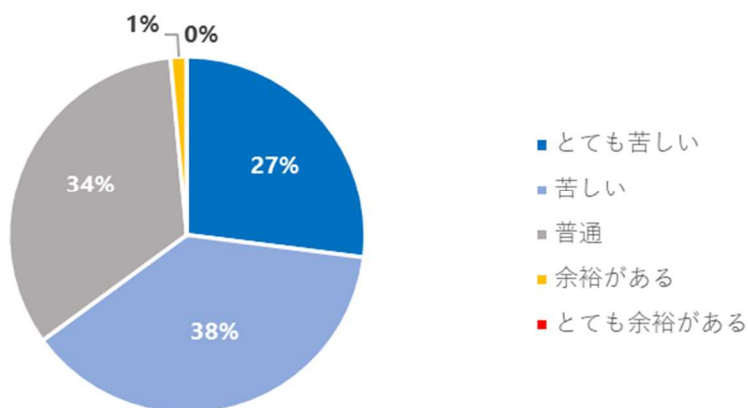
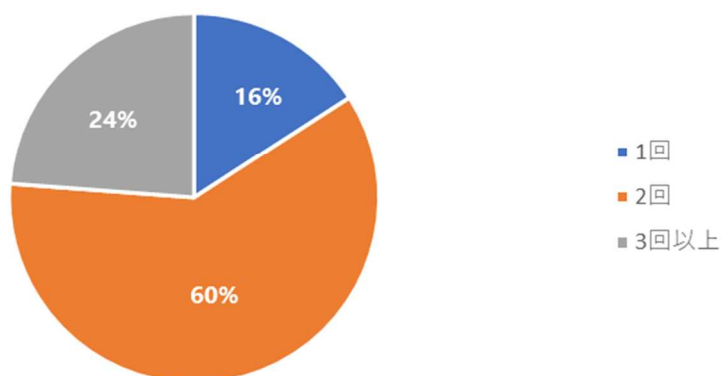


図9-2 1日の食事回数 (n=126)





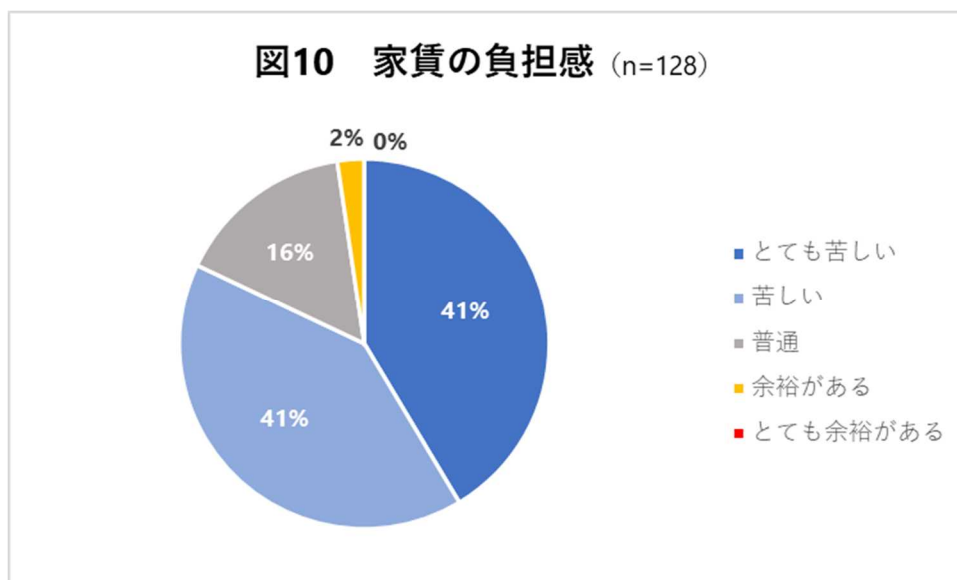
### (3) 住居のこと

ここでは、仮放免調査回答者の家賃の負担感、家賃額・家賃滞納・ガス水光熱費滞納を示します。ここでのポイントは、仮放免調査は他の調査と比較して、家賃に負担感を感じている者が多いこと、家賃滞納をしている者が多いこと、ガス水光熱費を滞納している者が多いことです。

#### ①家賃の負担感

調査回答者の家賃の負担感は、とても苦しい41%、苦しい41%、普通16%、余裕がある2%、とても余裕がある0%であり、とても苦しい・苦しいが全体の82%を占めました。なお、国土交通省「住宅市場動向調査報告書<sup>7</sup>」によると、2020年9～12月現在、家賃の負担感について、非常に負担感がある7.9%、少し負担感がある47.2%、あまり負担感はない26.8%、まったく負担感はない11.9%との結果でした。仮放免調査では、家賃の負担感をとても苦しい（非常に負担感がある）・苦しい（少し負担感がある）と答えている者は国交省調査の1.5倍でした。

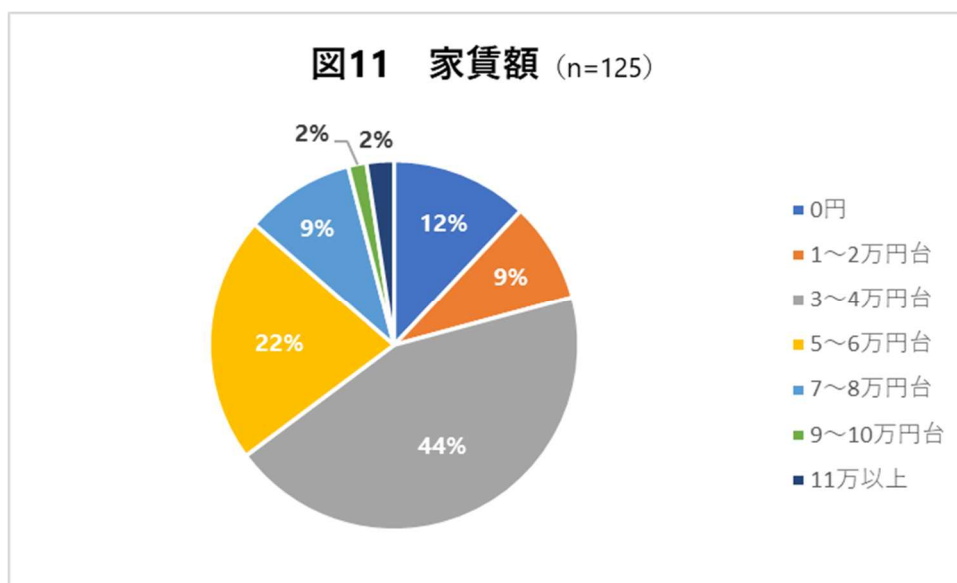
- ・今すぐに必要なサポートは家賃です。(40代女性)
- ・支払いが難しい。アパートの家賃の援助。助けてほしい！おねがい！（50代女性）
- ・安定している場所に住みたいです。(30代女性)
- ・家賃など請求金額が減らせるよう住んでいるところで、より安い賃料の住まいを探せるように助けてほしい。(30代女性)



<sup>7</sup> 国土交通省「住宅市場動向調査報告書」<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00600630&tstat=000001017729&cycle=8&tclass1val=0>.

## ②家賃額・家賃滞納

調査回答者の家賃額は、0円12%、1～2万円台9%、3～4万円台44%、5～6万円台22%、7～8万円台9%、9～10万円台2%、11万以上2%であり、4万円以下が全体の65%を占めました。また、家賃の平均額は4万240円でした。なお、国交省調査では家賃の平均額は7万6059円となっており、仮放免調査では国交省調査と比較して、低い家賃の住居で暮らしていることがわかりました。



調査回答者の家賃滞納の有無は、あり40%、なし60%でした。なお、公益財団法人日本賃貸住宅管理協会「日管協短観（2020年10月～2021年3月）<sup>8</sup>」によると、月末での1ヶ月滞納率は2.1%でした。仮放免調査では、家賃滞納をしている者は日本賃貸住宅管理協会調査の19倍でした。

調査回答者の家賃滞納期間は、1か月22%、2か月25%、3か月11%、4か月18%、5か月2%、6か月以上22%でした。最長は80か月（2名）であり、平均滞納期間は7.3か月でした。

調査回答者の家賃滞納額は、1～5万円台28%、6～10万円台23%、11万～15万円台14%、16万～20万円台21%、21万円以上14%でした。最高額は160万円台（2名）であり、平均滞納額は19万8372円でした。

- ・現在、4か月分の家賃を払っていない。食事のためのお金も借りる必要があります。すぐにでも家賃や生活費の援助があると助かります。（40代女性）
- ・今、私の状況は大変危険です。お金もなく、生活のための沢山の借金があります。家主は家賃のことで5回も私を脅し、家賃を払わないと殺すと言ってカバンを外に放ったり、

<sup>8</sup> 日本賃貸住宅管理協会「日管協短観」<https://www.jpm.jp/marketdata/>。

私の体を押ししたりしました。その時、私は大けがをして、救急車で病院に行きました。(40代男性)

図12-1 家賃滞納の有無 (n=125)

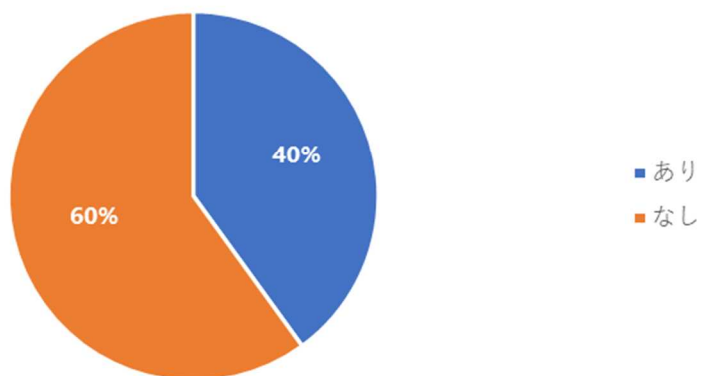


図12-2 家賃滞納期間 (n=45)

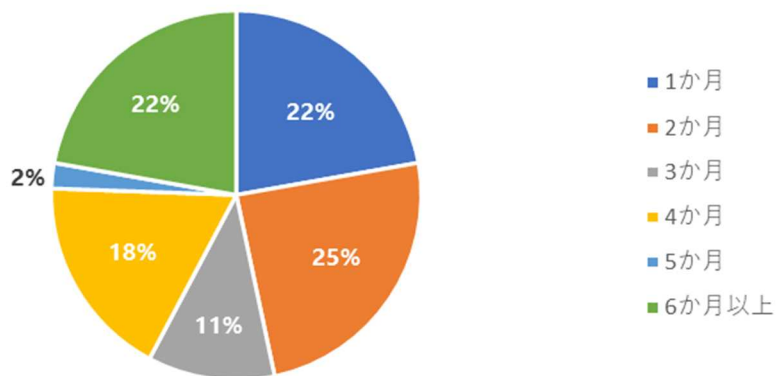
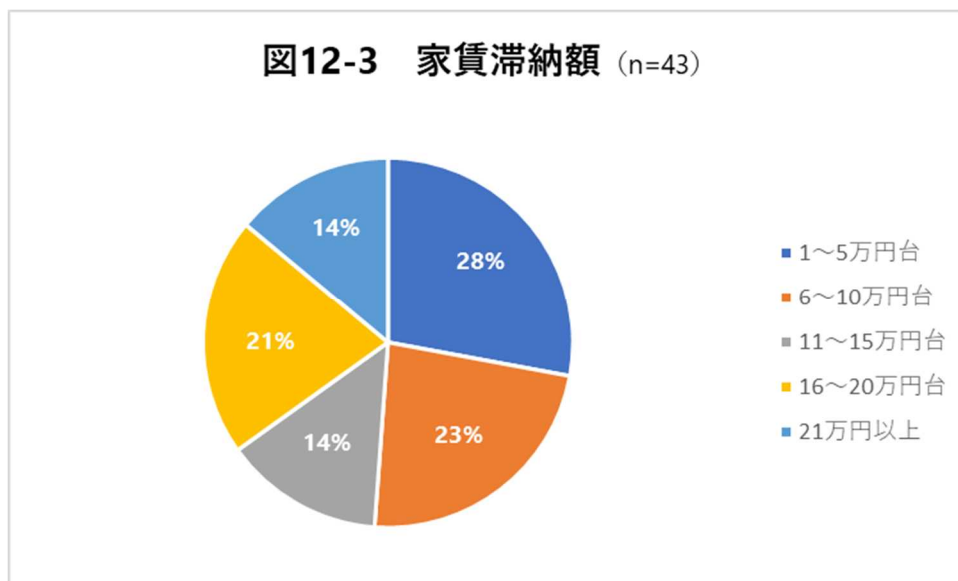


図12-3 家賃滞納額 (n=43)



### ③ガス水光熱費滞納

調査回答者のガス水光熱費滞納の有無は、あり 35%、なし 65%でした。なお、国立社会保障・人口問題研究所「社会保障・人口問題基本調査 生活と支え合いに関する調査<sup>9</sup>」によると、2017年7月現在、過去1年間に滞納があった世帯の割合は、電気 3.3%、ガス 3.4%、水道 3.1%でした。仮放免調査では、ガス水光熱費の滞納をしている者は国立社会保障・人口問題研究所調査の 10.3~11.3 倍でした。

調査回答者のガス水光熱費滞納期間は、1か月 30%、2か月 44%、3か月 3%、4か月 10%、5か月 3%、6か月以上 10%でした。最長は10か月であり、平均は2.6か月でした。

- ・アパートの支払いが遅れている。ガス止まっている。今月水代払わないと止められる。とても厳しいです。(30代男性)
- ・今差し迫って必要なのは、私一人の部屋が必要なのと、水光熱費を支払うサポートです。(50代男性)

<sup>9</sup> 国立社会保障・人口問題研究所「社会保障・人口問題基本調査 生活と支え合いに関する調査」<https://www.ipss.go.jp/ss-seikatsu/j/2017/seikatsu2017.asp>。

図13-1 ガス光熱水費滞納の有無 (n=127)

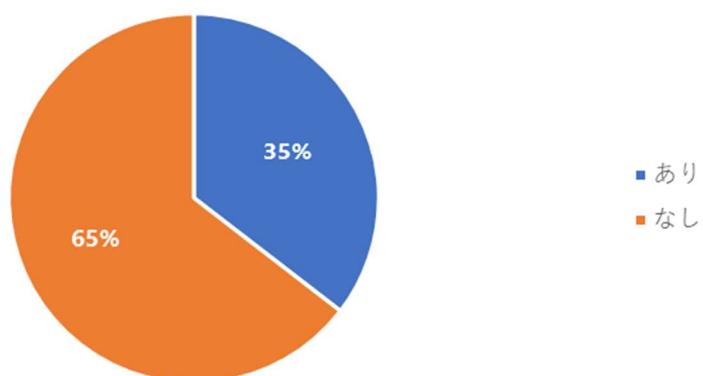
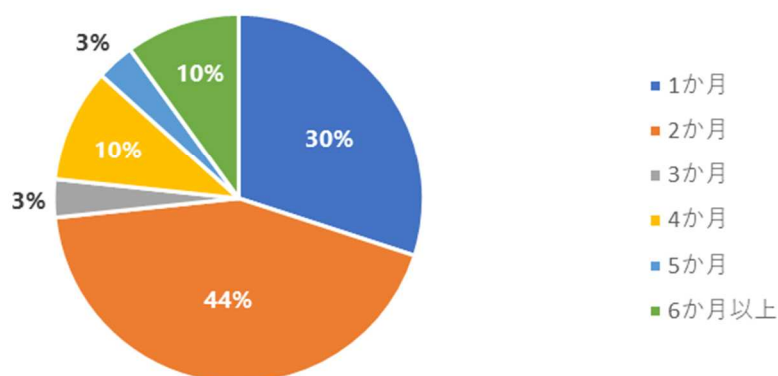


図13-2 ガス水光熱費滞納期間 (n=30)



#### (4) 医療のこと

ここでは、仮放免調査回答者の医療費の負担感、経済的問題により医療機関を受診できないことの有無、治療中の病気やケガ・経済的余裕があれば治療したい病気やケガを示します。ここでのポイントは、仮放免調査は他の調査と比較して、経済的問題により医療機関を受診できないと答えている者が多いことです。

##### ①医療費の負担感・経済的問題により医療機関を受診できないことの有無

調査回答者の医療費の負担感は、とても苦しい53%、苦しい34%、普通10%、余裕があ

る 2%、とても余裕がある 1%であり、とても苦しい・苦しいが全体の 87%を占めました。

調査回答者の経済的問題により医療機関を受診できないことの有無については、あり 84%、なし 16%でした。また、ありと答えた者のうち、その頻度について、よくある 44%、たまにある 56%という結果でした。なお、厚生労働省「家庭の生活実態及び生活意識に関する調査」によると、2019 年 7 月現在、「必要なときに医者にかかっていますか」とする質問について、金銭的に余裕がないため医者にかかっていると答えた者は 0.8%でした。また、国立社会保障・人口問題研究所「社会保障・人口問題基本調査 生活と支え合いに関する調査」によると、2017 年 7 月現在、金銭的に余裕がないため医者にかかっていると答えた者は 19.9%でした。

仮放免調査では、経済的問題により医療機関を受診できないと答えている者は厚労省調査の 105 倍、国立社会保障・人口問題研究所の 4.2 倍でした。

- ・風邪を引いたとき、熱が出たときは、氷で対応する。咳が出るときは温かい水でのどが乾かないようにする。病院は我慢しています。(20 代男性)
- ・今、私は妊娠 6 ヶ月。頭痛い。お金ない。帝王切開のお金大変。保険ない。(30 代女性)
- ・健康問題では、神に希望を置き、私を癒してくださるよう祈る。しかしながら、最近は難しい。何が間違っているのかわからない。私は健康を損ない、祈り続けている。(50 代不明)
- ・保険は入れないから医療的な保障もなく体が痛いばかりです。(40 代男性)
- ・具合が悪いときにすぐに病院に行けないので薬を買うだけ。医者に診てもらいたくてもお金がない。(50 代女性)
- ・子どもたちが病気になっても、あまり病院に行けないこと。(30 代女性)
- ・健康保険に入れず病院に行きたくても行けないので、保険に入りたいです。(40 代男性)
- ・私たちは妻が 4 年前に手術を受けたので 60 万円の病院の支払いを抱えています。病院の支払いを助けてください。(50 代男性)

図14 医療費の負担感 (n=127)

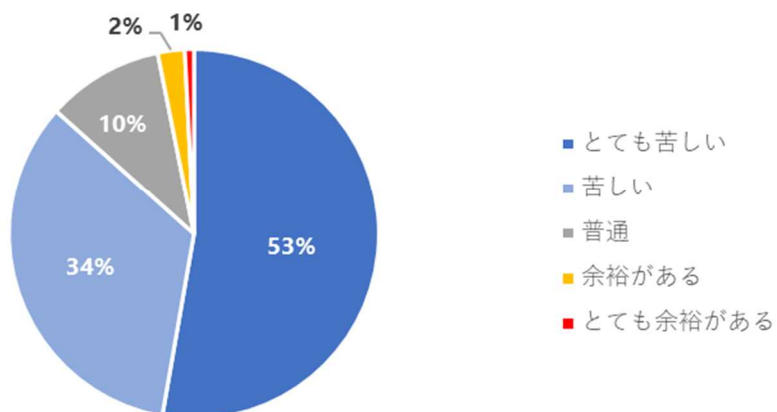


図15-1 経済的問題により医療機関を受診できないことの有無 (n=134)

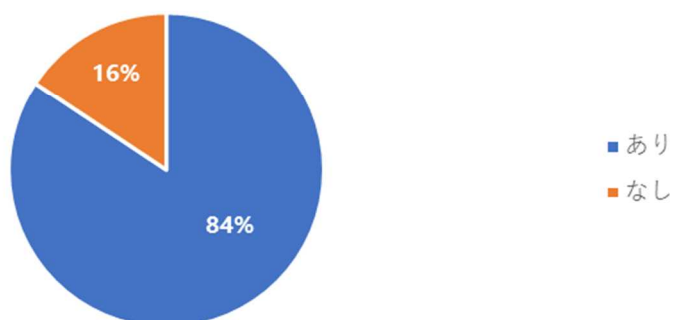
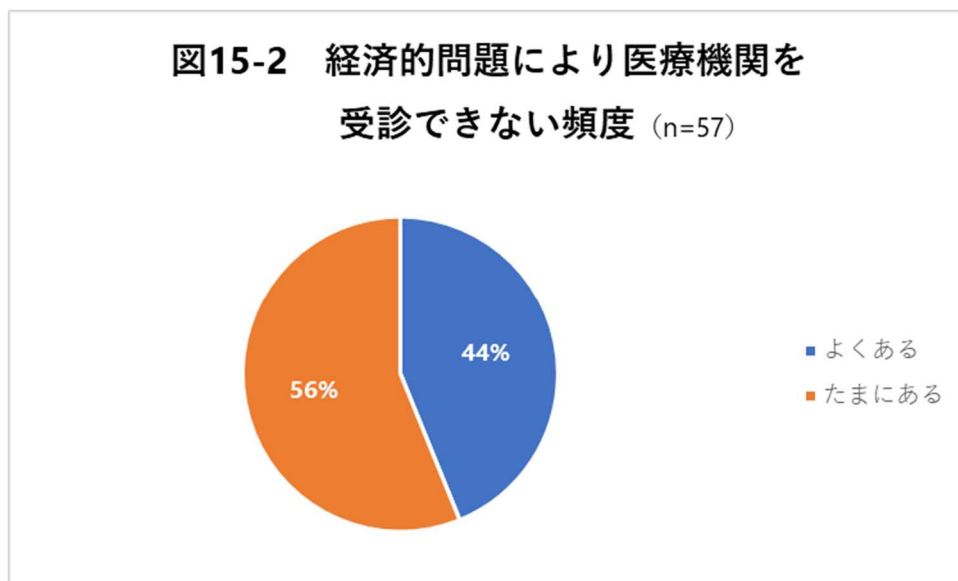


図15-2 経済的問題により医療機関を受診できない頻度 (n=57)



#### ②治療中の病気やケガ・経済的余裕があれば治療したい病気やケガ

調査回答者の経済的余裕があれば治療したい病気やケガの有無は、あり79%、なし21%でした。また、表5は調査回答者の治療中の病気やケガ、表6は経済的余裕があれば治療したい病気やケガの一覧です。1人1マスごとの回答となっています。

- ・私の手術に支援が必要です。私は病んでいて、日ごとに悪くなっています。医者には6か月以内に手術するようと言われていて、私には保険がないので、ひどく多額になる。息子も胸の痛みがあり、毎月チェックする必要があるのに、そんなに毎月は医者に連れていけない。(40代女性)
- ・頭の手術が必要だが、十分なお金がないので、そのための金銭的サポートが必要です。(30代男性)
- ・今すぐ必要なサポートは心臓と血液のチェックです。というのは、すごくお金がかかって、私にはそんなお金はありません。助けてもらえるなら本当に感謝します。(40代男性)
- ・私は目の病気ですぐにでも医師に診てもらいたいです。失明するのではないかと非常に心配です。(50代男性)



**図16** 経済的余裕があれば治療したい  
病気やケガの有無 (n=135)

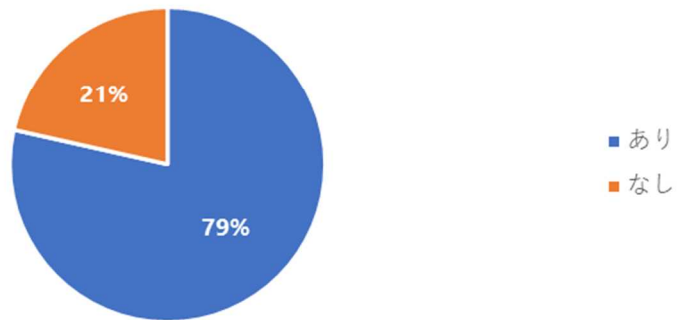


表5 治療中の病気やケガ

入れ歯が痛い、虫歯、腰痛、鼻と左肩の脱臼、胃の出血	精神障害、背中の痛み
高血圧、腰痛、背中痛	高血圧、高コレステロール、歯痛、頭の手術
うつ病	胸の痛み、チアノーゼ
足・腰の手術	子宮筋腫、心房細動、高血圧
腰痛	高血圧、膝と足の痛み
左ひざ軟骨の問題、胃腸の問題	高血圧
膀胱炎	背中と目の痛み
HIV	高血圧、背中の痛み
腰痛、体がいつも重い、鼻血がよく出る	高血圧、皮膚疾患、不眠症
血圧、膝	高血圧
歯	喘息、糖尿病、カウンセリング
歯、胃	糖尿病
歯	腰痛
精神	緑内障、足、体部分
変形性股関節症	高血圧、糖尿病、高コレステロール
オスグッド	高血圧、背中の痛み、精神科
子どもの頃に頸椎を怪我した後遺症	腰痛、カタル
高血圧、腰痛	高血圧、体の痛み
頭痛、耳の奥が痛い、首が痛い	歯の痛み、眼
胆石、大腸、肝臓	糖尿病
うつ病	背中の痛み
歯	卵巣、貧血、不眠症、便秘、乳房
糖尿病、高血圧	喘息
睡眠障害、以前の事故による体の痛み	背中の痛み
高血圧、糖尿病、コレステロール、胆石	歯
高血圧、糖尿病	高血圧、背中の痛み
胃	痔、肝炎
高血圧、ヘルニア、ガン	血栓、メンタルヘルス
両膝（水が溜まっている）	頭の手術
歯、骨	高血圧、背中の痛み、お尻の骨の痛み（痙攣かもしれない）
歯、アレルギー	糖尿病
心臓発作、糖尿病	高血圧、めまい、ヘルニア、糖尿病、腎臓、コレステロール
肩	糖尿病、事故による足切断の治療
高血圧、心房細動	潰瘍、腰痛、心臓発作、吐き気、めまい
頭・首・腰の痛み	腰痛
高血圧	眼の病気
腰痛	高血圧、腎臓、眼
慢性的な下腹部の痛み	うつ病
腰痛	肩痛、頭痛、腹痛
腰痛	腰痛、糖尿病、高血圧
仙腸関節炎、関節リウマチ	排尿、背中
うつ、皮膚疾患、半月板	吐き気、心臓が痛い
高血圧、コレステロール、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア	高血圧、足
不整脈、うつ、睡眠時無呼吸症候群	てんかん
紫外線アレルギー	虫歯
子宮筋腫	血管

※1人1マスごとの回答。

表6 経済的余裕があれば治療したい病気やケガ

両足指のしびれ、目が悪い	足
頭痛、体全体の痛み	白内障
定期健診	背中と目の痛み
足首と腰の手術	高血圧、背中での痛み
腰痛	心臓のチェック、血液のチェック
大腸炎、背中での痛み	歯
胃腸カメラ、CTなど	眼
膀胱炎	歯
歯、眼	コロナ感染（治った）、めまい
歯	頭・胃・腰・足・喉の痛み、高血圧
首、歯	眼のトラブル、吐き気、動悸、せき、疲労
歯	大腸炎
頭痛、耳の奥が痛い、首が痛い	左耳、腰痛、胃痛
歯	歯
鼻、胆石、大腸	腰痛
頭痛、腰痛	歯の痛み、眼
歯、右脇の痛み	眼、喘息、婦人科
胆石	乳がん（健診と治療）
高血圧、糖尿病	胃
体全部	歯、膝、心臓
女性のこと、精神	痔の手術
頭痛、腰痛	尿路と肝臓の問題
腹痛（虫垂炎？）	顔面麻痺、痔、ヘルニア
膝・背中での痛み	眼、歯、耳
腰痛	耳の痛み
眼科	MRI、潰瘍
神経関係	眼、腎臓
うつ、皮膚疾患、半月板	肩
高血圧、不整脈、コレステロール、うつ	手・胃・頭の痛み
ヘルニア	背中、泌尿器
歯と膝の痛み、子宮筋腫	歯
体全体のチェック	高血圧、足
ガンの可能性	頭痛、てんかん発作
チアノーゼ	歯痛、眼
心房細動、リンパ浮腫	腰痛

※1人1マスごとの回答。

## (5) その他生活のこと

ここでは、仮放免調査回答者の服・靴購入費の負担感、生理用品購入費の負担感、子どもの教育費の負担感、携帯電話料金の負担感、交通費の負担感を示します。ここでのポイントは、仮放免調査は他の調査と比較して、服・靴の購入に負担感を感じている者が多いこと、生理用品の購入に負担を感じている者が多いこと、子どもの教育費に負担を感じている者が多いこと、生理用品の購入に負担を感じている者が多いこと、携帯電話料金に負担を感じている者が多いことです。

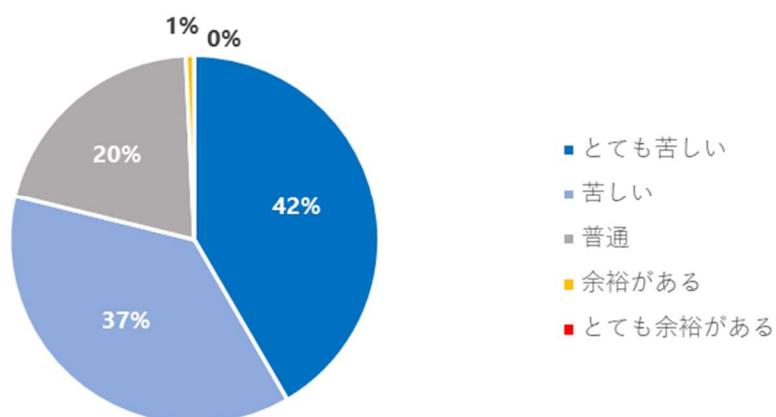
### ①服・靴購入費の負担感

調査回答者の服・靴購入費の負担感は、とても苦しい42%、苦しい37%、普通20%、余裕がある1%、とても余裕がある0%であり、とても苦しい・苦しいが全体の79%を占めました。なお、国立社会保障・人口問題研究所「社会保障・人口問題基本調査 生活と支え合いに関する調査」によると、2017年7月現在、過去1年間に経済的な理由で家族が必要とする衣服が買えなかった経験をもつ世帯の割合は、よくあった2.1%、時々あった4.0%、まれにあった8.9%、まったくなかった82.6%、無回答2.4%でした。

仮放免調査では、服・靴購入費の負担感をとても苦しい・苦しい（よくあった・時々あった・まれにあった）と答えている者は国立社会保障・人口問題研究所調査の5.3倍でした。

- ・冬が近くなっている今、冬の服や靴を買うお金も必要。今ですら、サンダルも持っていない。スープを作るための小さな物を買うお金。私が買う必要のある物をこうやって書くことに恥を感じます。(60代男性)
- ・冬服がない。食料は入手困難。(50代男性)

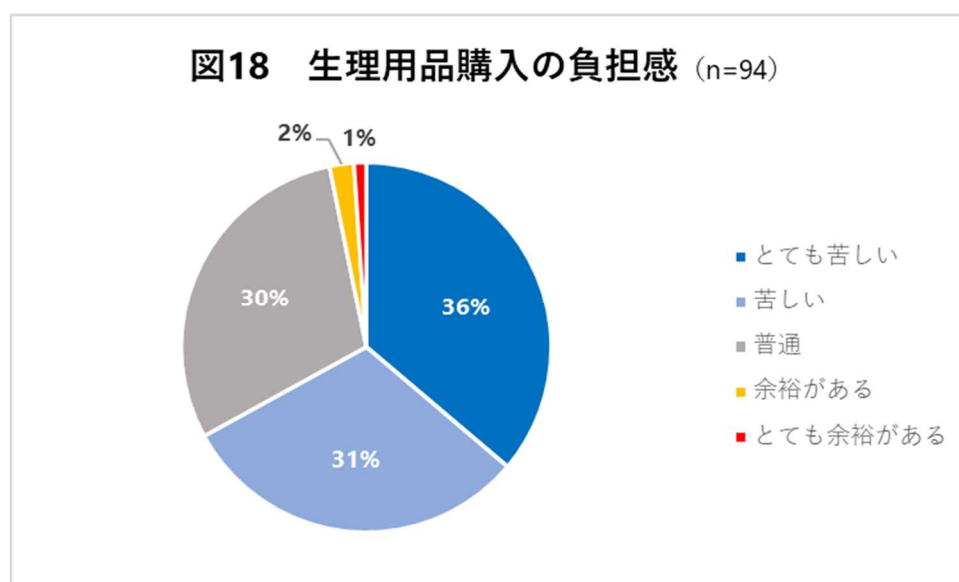
図17 服・靴購入費の負担感 (n=137)



## ②生理用品購入費の負担感

調査回答者の生理用品購入費の負担感は、とても苦しい 36%、苦しい 31%、普通 30%、余裕がある 2%、とても余裕がある 1%であり、とても苦しい・苦しいが全体の 67%を占めました。なお、#みんなの生理 Official による「日本国内の高校、短期大学、四年制大学、大学院、専門・専修学校などに在籍している方で、過去 1 年間で生理を経験した方」を対象に行った「日本の若者の生理に関するアンケート調査<sup>10</sup>」によると、2021 年 2 月～5 月現在、金銭的理由で生理用品を購入することができなかったことがある者 5.9%、金銭的理由で生理用品を買うのに苦労したことがある者 19.7%という結果でした。

#みんなの生理 Official 調査は学生に限定した調査であることに注意が必要ですが、仮放免調査では、生理用品購入費の負担感をとても苦しい・苦しい（金銭的理由で生理用品を買うのに苦労したことがある）と答えている者は#みんなの生理 Official 調査の 3.4 倍でした。



## ③子どもの教育費の負担感

調査回答者の子どもの教育費の負担感は、とても苦しい 67%、苦しい 23%、普通 8%、余裕がある 2%、とても余裕がある 0%であり、とても苦しい・苦しいが全体の 90%を占めました。なお、ソニー生命保険株式会社が大学生以下の子どもがいる 20 歳以上の男女に対

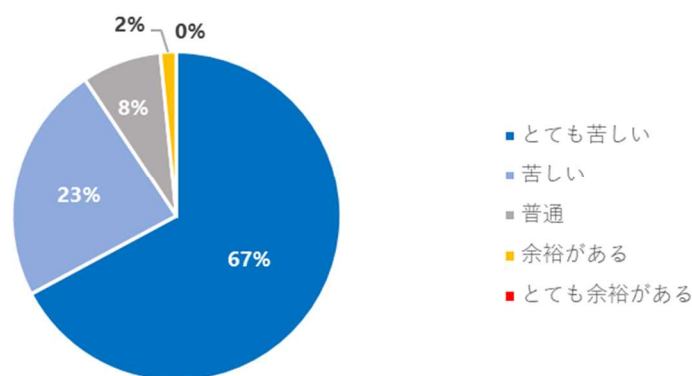
<sup>10</sup> #みんなの生理 Official 「日本の若者の生理に関するアンケート調査」 <https://minnanoseiri.wixsite.com/website/post/%E3%80%8C%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%AE%E8%8B%A5%E8%80%85%E3%81%AE%E7%94%9F%E7%90%86%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E3%80%8D%E6%9C%80%E7%B5%82%E7%B5%90%E6%9E%9C>。

して行った「子どもの教育資金に関する調査 2021<sup>11</sup>」によると、2021年1月現在、「子どもの教育費の負担を重いと感じるか」とする質問について、非常に当てはまる 21.5%、やや当てはまる 42.4%、あまり当てはまらない 28.0%、まったく当てはまらない 8.1%という結果でした。

仮放免調査では、子どもの教育費の負担感をとても苦しい・苦しい（よくあった・時々あった・まれにあった）と答えている者はソニー生命保険株式会社調査の 1.4 倍でした。

- ・私の父と母はベストを尽くして私に食べ物を買ってくれたり、学校のことに出費してくれたりします。それでも必要なものがすべて買えるような同級生とは違います。好きな食べ物は食べられません。同級生のような iPad は持ってません。私の家族にはお金がないからです。様々なことができません。宿題を助けてもらう先生を頼むこともできません。母が払えないからです。母がいつもうちにはお金がないからできないんだと言っています。母も仕事がないのです。(10代男性)
- ・母に病院に連れて行ってもらう必要がある。両親が私の世話を良くできるようになってほしい。私の学校での必要や、宿題を助けてくれる先生や、スポーツ活動などのお金があれば私の学校の成績も改善できるのに。母に学校の勉強を手伝ってもらうのはとても難しいんです。母は日本人ではないからです。(10代男性)
- ・どうぞ娘の学費の支払いを助けてください。本当に困っています。(50代女性)
- ・勉強している娘がいますが、その学業を支えることができません。(60代男性)
- ・2人の娘の経済的援助が必要。1人は大学生で2人目は専門学校に行く予定。(50代女性)
- ・子どもたちは大学への進学を希望していますが、お金が十分ではありません。2番目の子どもは来年高校を卒業します。そして、お金が必要です。(50代男性)

図19 子どもの教育費の負担感 (n=64)

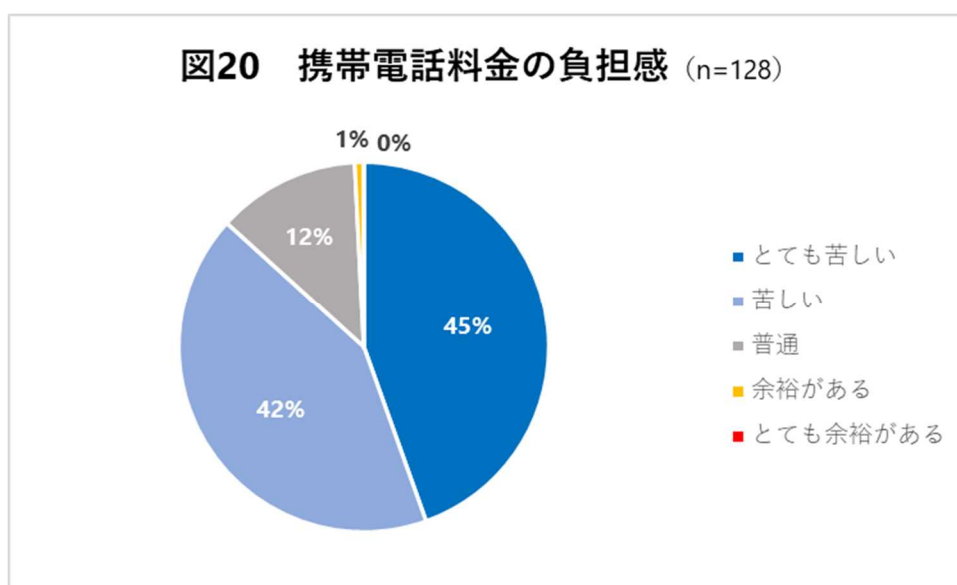


<sup>11</sup> ソニー生命保険株式会社「子どもの教育資金に関する調査 2021」 [https://www.sonylife.co.jp/company/news/2020/nr\\_210302.html](https://www.sonylife.co.jp/company/news/2020/nr_210302.html).

#### ④携帯電話料金の負担感

調査回答者の携帯電話料金の負担感は、とても苦しい45%、苦しい42%、普通12%、余裕がある1%、とても余裕がある0%であり、とても苦しい・苦しいが全体の87%を占めました。なお、野村総合研究所が全国のスマートフォンユーザー3000人に対して行った「携帯電話料金に対する意識調査」によると<sup>12</sup>、2018年7月現在、携帯電話料金を負担に感じると答えた者は53%でした。

仮放免調査では、携帯電話料金の負担感をとても苦しい・苦しい（携帯電話料金を負担に感じる）と答えている者は野村総合研究所調査の1.6倍でした。

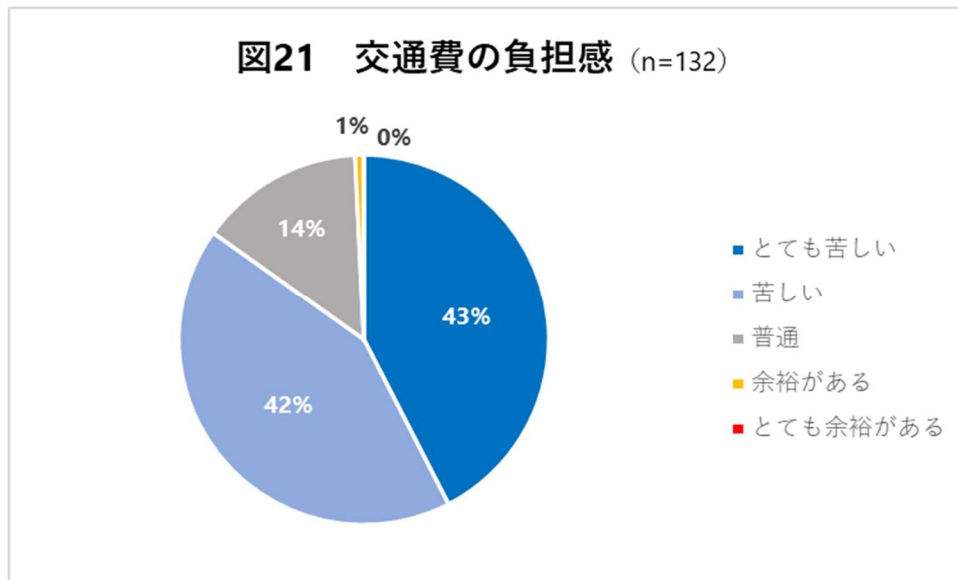


#### ⑤交通費の負担感

調査回答者の交通費の負担感は、とても苦しい43%、苦しい42%、普通14%、余裕がある1%、とても余裕がある0%であり、とても苦しい・苦しいが全体の85%を占めました。

- ・食事や交通費などただただ切り詰めてしのぐしかない。選択肢がないのは辛いが他にどうしようもない。(40代不明)
- ・食料など生きていくための買い物や交通費などのお金が必要。(50代女性)

<sup>12</sup> 野村総合研究所「携帯電話料金に対する意識調査」<https://www.nri.com/jp/knowledge/report/lst/2018/cc/mediaforum/forum271>。



## (6) 所得・借金のこと、コロナのこと

ここでは、仮放免調査回答者の所得の状況、借金の状況、コロナによる影響を示します。ここでのポイントは、所得の低い者が多いこと、コロナによる影響で生活苦になった者が多いこと、他の調査と比較して借金がある者が多いことです。

### ①所得の状況

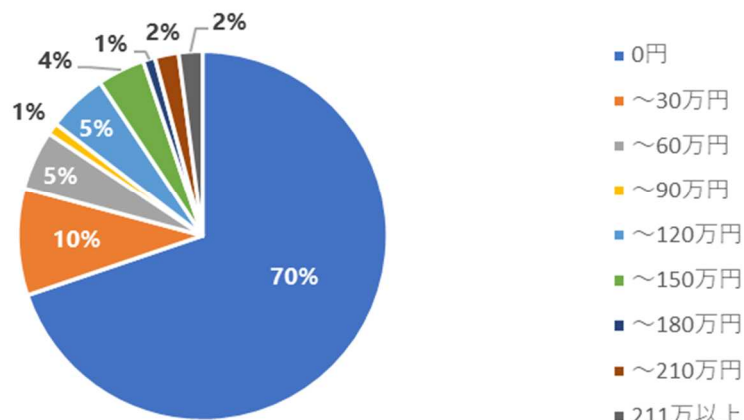
調査回答者本人の年収は、0円70%、～30万円10%、～60万円5%、～90万円1%、～120万円5%、～150万円4%、～180万円1%、～210万円2%、211万円以上2%であり、全体の86%が90万円以下の年収でした。ここでいう年収には、給与だけではなく、友人や知人、支援団体などから得た金銭も含んでいます。最高額は361～390万円(2名)でした。なお、計算方法が異なるため仮放免調査と単純に比較することはできませんが、参考資料として、厚生労働省「国民生活基礎調査<sup>13</sup>」によると、2018年の世帯人員1人当たりの平均所得金額は222万3000円、100万円未満の者は16%でした。

- ・私の月、もしくは年間の収入は0円です。なぜならいっしょに暮している人たちは金銭的には手伝ってくれないからです。(年齢不明男性)
- ・仕事ができなくて、義理のお母さんも仕事が減っていて、お金がない(30代女性)
- ・仕事ができない。収入がないので足腰の手術ができない。(50代男性)

<sup>13</sup> 厚生労働省「国民生活基礎調査」<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450061&tstat=000001141126>。



図22 回答者本人の年収 (n=96)



## ②借金の状況

調査回答者の借金の有無は、あり 66%、なし 34%でした。なお、「国民生活基礎調査」によると、2019年6月末現在、借入金がある世帯 28.5%、ない世帯 63.9%でした。仮放免調査では、借金があると答えている者は国民生活基礎調査の 2.3 倍でした。

調査回答者の借金額は、10万円未満 34%、10万円台 15%、20万円台 15%、30万円台 5%、40万円台 5%、50万円台 7%、60万円台 3%、70万円台 0%、80万円台 2%、90万円台 2%、100万円台 3%、110万円以上 9%でした。最高額は 750万円でした。

- ・いつも友人たちから借りている。どうかお金の面で助けてください。(50代男性)
- ・私にとって本当に大変ですが、友達の何人かが助けてくれていて、その借金が積み重なって私にとって大きな問題になっています。(40代女性)
- ・友人に懇談して少しずつ返済できるように話のですが、実際はどんどん増えていってる状況で、一日も早く生活が楽になるよう、夫の負担を少しでも減らしていけるよう働きたい。(50代女性)
- ・友達にお金を貸してくれるように頼んでいるが、彼らもお金を持っていないときは待っている。(40代男性)。
- ・お金は借りることはできない。なぜなら返すことができないから。かつては友人に助けを求めまわったし、日本には住んでいない友人や兄弟姉妹にも頼んだが難しい。(40代女性)

図23-1 借金の有無 (n=132)

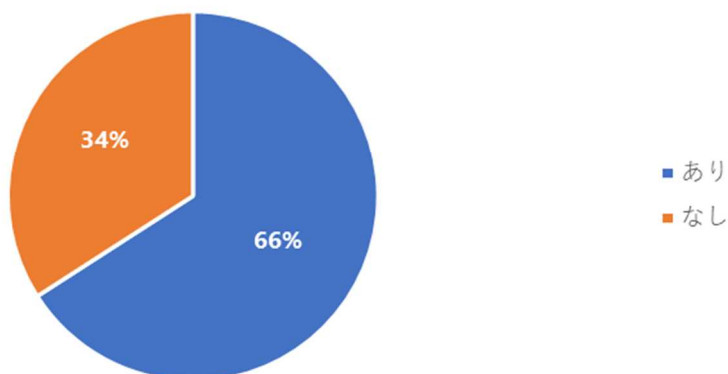
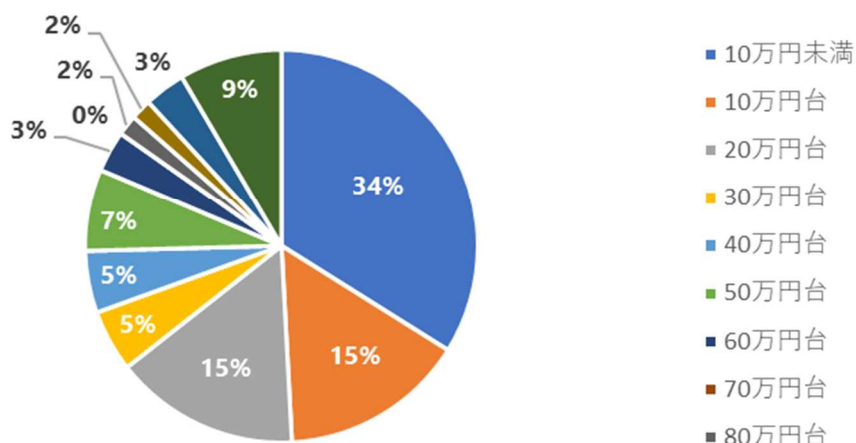


図23-2 借金額 (n=59)



### ③コロナによる影響

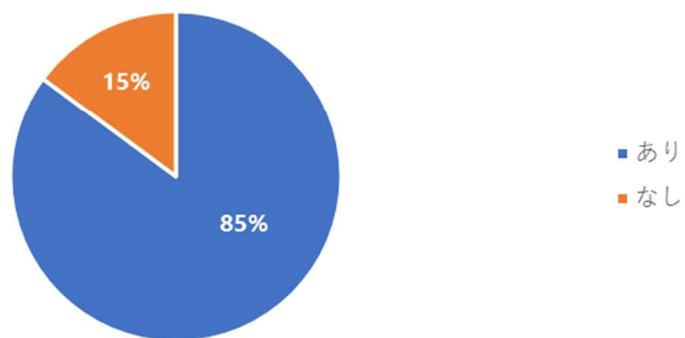
調査回答者のコロナの影響による生活苦の有無は、あり 85%、なし 15%でした。

- ・助けてくれる人たちの仕事なくなったり、もしくは短時間になっている。(50代男性)
- ・コロナ前は友達が食べ物と衣服を助けてくれたけど、今はとても苦しいです。(50代男性)
- ・基本的にほとんど全員が窮地に追い込まれているので、誰かが私たちのような他の人に助けの手を差し伸べるのは、すごい難しい。(30代男性)
- ・もっと苦しくなっています。友達会えない、いろいろなところ (support places) 行けない。(50代男性)
- ・友人たちはこれまで教会のサービスや母国の集まりの際にヘルプしてくれていたのですが、コ

- ロナ以降、以前のように気軽に集まれないことが辛い。(50代女性)
- ・(いいえ) 前と後ではかわらず苦しいです。(30代男性)
  - ・(いいえ) コロナ前から大変だったので、あまり生活が変わったという感じなかったから。  
例) コロナ前から移動が制限されているなど。(20代女性)
  - ・(不明) 日本に来てから生活は常に困難だった。(30代男性)

**図24 コロナの影響による生活苦の有無**

(n=121)



#### **4.仮放免調査で明らかになったこと・仮放免者施策の提言**

ここでは、仮放免調査を通して明らかになったこと、それを踏まえて、今必要とされている仮放免者施策を提言します。

##### **(1) 仮放免調査で明らかになったこと**

###### **①日本に長く暮らし、働ける年齢層の仮放免者**

仮放免調査では回答者の 87%が 20～50 代の働ける年齢層の者でした。入管発表資料でも 83%の者が 20～50 代の働ける年齢層の者でした。また、調査回答者のうち、帰化要件（5 年）以上の滞在年数の者は 84%、永住許可要件（10 年）以上の者は 66%、20 年以上の者は 36%、30 年以上の者は 16%となっており、他の調査と比較して滞在年数が長い者が多いことが明らかになりました。さらに、調査回答者の 24%が有子世帯でした。

ここからは、仮放免者の多くは、日本に長く暮らし続け、かつ、働ける者が多いこと。子どもを養育する必要がある世帯が全体の 4 分の 1 であることがわかります。

###### **②食料の確保が困難な仮放免者**

仮放免調査では、生活状況をととても苦しい・苦しいと答えている者は他の調査の 2.1 倍。食事状況をととても苦しい・苦しいと答えている者は 6.1 倍、食事回数を 1 回と答えている者は 8 倍でした。ここからは、生きていくのに不可欠な食料の確保が難しい仮放免者が多くいることがわかります。仮放免者は、悪い栄養状態に留め置かれ、心身の健康に悪影響が出る危険性があります。

###### **③住居の維持・確保が困難な仮放免者**

仮放免調査では、家賃の負担感をととても苦しい・苦しいと答えている者は他の調査の 1.5 倍。低い家賃の住居で暮らしていますが、家賃滞納をしている者は他の調査の 19 倍。ガス水光熱費の滞納をしている者は 10.3～11.3 倍でした。ここからは、生きていくのに不可欠な住居の維持・確保が困難な仮放免者が多くいることがわかります。仮放免者は、住居を失い、ホームレス状態になる危険性があります。

###### **④医療を受けられない仮放免者**

仮放免調査では、経済的問題により医療機関を受診できないと答えている者は他の調査の 4.2～105 倍。79%の者が経済的余裕があれば治療したい病気やケガがあると答えました。ここからは、生きていくのに不可欠な医療を受けられない仮放免者が多くいることがわかります。仮放免者は、医療を受けられず、病気やケガに苦しみ、命の危機に瀕する危険性があります。

## ⑤社会生活を営むことが困難な仮放免者・教育を受けることが困難な子ども

仮放免調査では、服・靴購入費の負担感をとても苦しい・苦しいと答えている者は他の調査の 5.3 倍、生理用品購入費の負担感をとても苦しい・苦しいと答えている者は 3.4 倍、子どもの教育費の負担感をとても苦しい・苦しいと答えている者は 1.4 倍、携帯電話料金の負担感をとても苦しい・苦しいと答えている者は 1.6 倍、交通費の負担感をとても苦しい・苦しいと答えている者が全体の 85%でした。

ここからは、生きていくのに不可欠な日用品や子どもの将来のための教育費を確保することが困難な仮放免が多くいることがわかります。仮放免は一般的な社会生活を営むことができず、また、仮放免者の子どもは子どもの権利として受けられるはずの教育を受けられない可能性があります。

## ⑥収入を確保することが困難な仮放免者・コロナ禍によるさらなる生活困窮

仮放免調査では、年収 0 円の者は 70%、90 万円以下の者は 86%。借金があると答えている者は他の調査の 2.3 倍、コロナの影響で生活が苦しくなったと答えた者は 85%でした。

ここからは、生活をするために不可欠な収入を確保することが困難な仮放免者が多くいることがわかります。仮放免者は「絶対的貧困」と表現しても良いような収入状況で生活しています。また、こうした生活はコロナ禍によってさらに悪化しています。

## (2) 仮放免者施策の提言

仮放免調査を通して明らかになったことを踏まえて、「生きていけない」状況の仮放免者の命と生活を維持していくためにはどのような施策が必要なのかを提示します。

### ①就労を認めること

仮放免者が、食事・家賃・医療の確保、社会生活を営むことが困難な最大の理由は、就労ができず収入を得ることができないためです。仮放免者の多くが稼働年齢層の者であり、働ける状況です。就労許可を出すことが仮放免者の命と生活を維持するための最も効果的かつ合理的な手段です。

この点について、2021 年以降、出入国在留管理庁は「本国情勢を踏まえた在留ミャンマー一人への緊急避難措置<sup>14</sup>」において、すでに上記の対応を行っており、ミャンマー人仮放免者について「特定活動(6 か月・週 28 時間以内の就労可)」の在留資格が付与されている事例を確認しています。国は、少なくとも上記措置と同様な対応を仮放免者に対して行う必要があります。

---

<sup>14</sup> 出入国在留管理庁「本国情勢を踏まえた在留ミャンマー一人への緊急避難措置」[https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/10\\_00036.html](https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/10_00036.html)。

- ・いどこから支援してもらっている。でも、いつまでもこの状況が続けていくことは恥ずかしいこと。まだ私は働き者です。自分の力で生きていきたい。(40代男性)
- ・他人に頼るより自分で仕事したい。だから難民許可いただけるのが私の希望です。(40代男性)
- ・ずっと他人に頼るのではなく、自立して自分の力で生活したい。(50代男性)
- ・政府が私たちが自由に動けるようにしてほしいし、いくらかでも働ける時間の許可もしてほしい。そうすれば、自分たちのことは自分たちで世話できるようになる。(50代男性)
- ・自分のことをきちっと世話できるようにしたい。そうすれば、もし私が自国に帰ることになったときには他の人たちをトレーニングできる。(30代男性)
- ・若いのに何も役に立たず、精神的に苦しくて、仕事も禁止され、生活はとても大変です(30代男性)。
- ・日本に住むことが許されるなら一生懸命自立して自分の生活を支えたい。家族をいつか持ちたい。子どもも欲しい。(50代男性)
- ・この国の役に立ちたい。少しでも力になりたい。(40代男性)

## ②国民健康保険など医療保険の加入を認めること

仮放免者の多くが医療を受けられない原因は、上記①に加えて、仮放免者は国民健康保険など医療保険に加入できず、全額自己負担の医療費を支払わなければならないことがあります。そのため、国は、仮放免者にも国民健康保険など医療保険の加入を認める必要があります。その際、仮放免者は、他の被保険者と同様に保険料を納め、納められない場合は減免措置が行われる必要があります。

## ③無料低額診療事業を行う医療機関への支援・未払補填事業の整備拡充を行うこと

就労できず収入がなく、国民健康保険など医療保険にも加入できない場合、医療を受けることが困難になります。その場合、無料低額診療事業を行う医療機関が要治療者を受け入れることがあります。実際に、仮放免者を受け入れている医療機関があります。しかし、そこで生じた医療費は原則医療機関負担となり、医療機関の経営に影響を及ぼす可能性があります<sup>15</sup>。

国は、無料低額診療事業を行う医療機関が、高額な治療費を要する無保険者を受け入れたときは、医療費を補填する仕組みを整備する必要があります。また、現在、一部の自治体が行っている「外国人未払医療費補填事業」について、どこに住んでいても、どの医療機関にかかっても対応できるよう、国全体の制度として実施する必要があります。これらの対応は、

<sup>15</sup> 移住者と連帯する全国ネットワーク 2021年11月11日「#困窮する移民・難民に医療を - 解説記事②『善意ある病院だけの対応ではもう限界』(無料低額診療事業編)」<https://migrants.jp/news/blog/20211111.html>。

仮放免者の命と生活を維持するためだけではなく、医療機関の経営を維持するための対応でもあります。

#### ④生活保護法を適用すること

就労できず収入がなく、何の公的支援も利用できない場合、生活することができなくなり、命の危機に瀕する状態となります。その場合、日本には「最後のセーフティネット」として生活保護制度が整備されています。国は、生活に困窮し、命や生活の危機に瀕している仮放免者にも生活保護法を適用する必要があります。

## 5.参考資料

### (1) 自由記述

①仮放免者は国から働いてはいけないと言われています。また、生活保護のような公的保障を受けることもできません。お金がなく、生活に困ったとき、どう対処していますか？

- ・義理のお母さんに払ってもらってるけど、コロナのせいで仕事がなくなって、毎月の食料を少し長澤さんにもらっています。家賃のお金をたまにくれます。(30代女性)
- ・今まで母国から使った財産生活しています。(50代男性)
- ・知り合いの人たちの助けを待つしかないです。(50代男性)
- ・同国のネットワークや日本の支援者に助けてもらった。(50代男性)
- ・家族が生活保護世帯です。家族のお世話になっている状態です。病気がなくギリギリの暮らしができていますが、病気やケガをした時のことを考えるとおそろしくなる。(30代男性)
- ・よくわかりません。(40代女性)
- ・私は夫がいますので、とりあえず心配がないと思います。(50代女性)
- ・友人が野菜畑をしているので、手伝って、お礼に野菜をもらう。日本語がうまくない友人の通訳をしてお金を借りる。奥さん(日本人)は英語を日本語訳にできるので友人の書類の作成をしてもらい代金をもらう。(40代男性)
- ・彼女1人で仕事をしているので、その給料で頑張っていますが、とても厳しいです。(30代男性)
- ・お母さんの支えと保証人の助けを受ける。(50代男性)
- ・生活すごく大変で、お金節約するため、毎日1食しか食べていない。その1回の食分量は2回分に分けて、1回は今日の分、もう1回は明日の分。食料少ないので、かわりに毎日水を飲む。お腹すかないために。  
風邪を引いたとき、熱が出たときは、氷で対応する。咳が出るときは温かい水でのどが乾かないようにする。病院は我慢しています。  
仮放免もらっても仕事がない。仕事ない、お金ない、なので犯罪になっている人がいるかもしれない。犯罪率上がっているのではないか。(20代男性)
- ・いつも借金が出ることなど。普通の生活は不可能です。(50代男性)
- ・仕事も保険もなく苦しい生活です。(30代男性)
- ・何もできることがなく、がまんばかりの生活です。(40代男性)
- ・家族からも離れ離れ、普通の生活や仕事もできなく、お金がないと何もできない生活です(60代男性)。
- ・若いのに何も役に立たず、精神的に苦しくて、仕事も禁止され、生活はとても大変です(30代男性)。
- ・夫の給料にて生活している。(60代女性)



- ・親や親の友人に頼る。(20代女性)
- ・神に祈る。(10代女性)
- ・今は日本人配偶者(他界)との間の子ども(日本国籍)がいるので、子ども名義で生活保護を受給できているが、今後が心配。(50代女性)
- ・親族か友人からお金を借りて生活します。(30代男性)
- ・食料のことについてフードバンク支援団体からもらいます。住むところはボランティアから支援してくれています。(30代女性)
- ・妻が働いている。夫婦ともに難民申請者。妻は就労許可の特定活動。夫(記入者)は仮放免。(30代男性)
- ・今、私は妊娠6ヶ月。頭痛い。お金ない。帝王切開のお金大変。保険ない。これから生活困る。(30代女性)
- ・困ったときもボランティアさん。(30代男性)
- ・どうしようもありません。(30代男性)
- ・毎月イギリスにいる息子が3~4万円送ってるんで生活しています。(60代男性)
- ・友人に懇談して少しずつ返済できるように話のですが、実際はどんどん増えていってる状況で、一日も早く生活が楽になるよう、夫の負担を少しでも減らしていけるよう働きたい。(50代女性)
- ・夫に相談する。(50代女性)
- ・日本国で働きたい。(50代男性)
- ・フィリピンやオーストラリアに住んでいる娘たちに助けてもらっています。(50代女性)
- ・知人や友人からお金を借りている。(50代男性)
- ・知人や友人に借りている。(10代女性)
- ・頼るところがないので、お金を使うことをなるべく我慢しています(妻と子の給料のみ)。(60代男性)
- ・海外にいるお姉さんと弟にお金を借りてます。たまにもらっています。週にアルバイト1回しています。(50代男性)
- ・難しいです。(50代女性)
- ・2月にコロナに夫婦でかかったときは、緊急小口を借りました。妻一人の給料で生活しているため、どこにも頼ることもできなく困っている。(40代男性)
- ・友達から貸してもらっています。(40代女性)
- ・心臓の病気と糖尿病があります。私にとって最も大事なことは健康保険です。(50代男性)
- ・人間にとって最悪だと思います。働かない、普通の生活もできません。普通の生活ができません、どうやって生きるの？子供いる家族もっと苦しいです。病気になる人も大変…。死ぬしかない、自分の国にも帰れないから。仮放免者は本当に苦しくて恥ずかしいな生活です。仮放免者は犯罪者よりも気分が悪いと感じています。生活を守るために働けるように願っています。この問題についてのご理解とご協力また応援をよろしく願います。(50

代男性)

- ・友達からお金をもらうことがあります。(50代男性)
- ・奥さんがいるので奥さんに助けてもらっています。(40代男性)
- ・ずっと前の預金が少しある。(50代男性)
- ・友達と保証人から困ったとき頼りました。(40代男性)
- ・奥さんが働く。(40代男性)
- ・友達と保証人から困ったとき頼りました。(50代女性)
- ・ボランティア団体と友達から。(50代男性)
- ・極力無駄な出費は避ける。我慢する。支援団体や同じ宗教の支援者、日本人の支援者のお力を借りる。(50代男性)
- ・極力無駄な出費は避ける。我慢する。支援団体や同じ宗教の支援者、日本人の支援者のお力を借りる。(40代女性)
- ・今は奥さんが働いて奥さんの給料でとても大変な思いで家族4人で生活しています。お昼に塩むすびしか食べられないときも数多くあります。夜のご飯はスーパーで半額シールが貼る時間まで待って、それを買ってきて食べます。賞味期限が近くなったカップラーメンをセールの時に買ってきて、ストックして、それを食べることも多いです。光熱費を節約するために2週間に1回しかシャワーしません。タオルで体を拭くしかありません。冬寒くても暖房を使わず、布団に入って頭から毛布をかぶって寝ます。洗濯も回数を減らすため、洋服をたくさん集めてから1回でしています。(40代男性)
- ・日本での友達に連絡をしてお金を借ります。(30代女性)
- ・友人と親族からお金を借りる。(50代男性)
- ・私の場合、子どもをデイケアに行かせるために働いていますが、デイケアの時間と仕事の時間を考えると、長く働けないので、その点で困難を抱えています。(30代女性)
- ・このような助けを誰かに求めることは難しく恥ずかしい。(50代男性)
- ・友達に頼んで時々助けてもらう。時々彼らからお金を借りる。(40代女性)
- ・たいてい、私は保証人からお金の助けを得ることができます。彼らはいつも私を必要なときに病院に連れて行ってくれます。(60代男性)
- ・正直に言って、生活の様々な面で困難がある。前にも言ったように、主人の少ない給料ですべてを賄わなければならない。家賃を払って、息子のスポーツ活動に出費したら、もうほとんど、または全く他のために払うお金(食べ物にも)が残らない。だから、いろいろな困難がある。特に、息子と私の医療費とか。欲しいものが買えないで我慢している。(40代女性)
- ・状況は本当に困難できつい。お金がないので。本当になんと説明してよいのかわからないが、「神様」はいつも共にいてくれて、守ってくれて、導いてくれる。私は働けないので、生活費を稼ぐのが難しい。でも私は神様を信じている。神の力で何とかなると信じている。(30代女性)

- ・友人に助けを求める。(30代女性)
  - ・友人に助けを求める。(30代男性)
  - ・まったく何一つ食べるものがない極端な状況になると、同じカメルーン人に助けを求める。でも自分はお荷物だなあと感じて、恥を感じる。私は体力もあり、自分をサポートするために働けるんです。入管に収容するように言っている日本政府のシステムとはどんなだろうと疑問を持ってしまう。(30代男性)
  - ・私の父と母はベストを尽くして私に食べ物を買ってくれたり、学校のことに出費してくれたりします。それでも必要なものがすべて買えるような同級生とは違います。好きな食べ物は食べられません。同級生のようなiPadは持ってません。私の家族にはお金がないからです。様々なことができません。宿題を助けてもらう先生を頼むこともできません。母が払えないからです。母がいつもうちにはお金がないからできないんだと言っています。母も仕事がないのです。(10代男性)
  - ・助けは友人に聞きまわらねばなりません。お金は借りることはできない。なぜなら返すことができないから。かつては友人に助けを求めまわったし、日本には住んでいない友人や兄弟姉妹にも頼んだが難しい。国際送金の法律があるからだ。(40代女性)
  - ・仮放免のルールでは私に選択肢はありません。無理強いされているのは、乞食のように請うて生きること、時には自分の友人にも請うことです。(50代男性)
  - ・アミーゴスが食べ物で助けてくれている。でも、パンや卵や他の物を買うためのたった500円を何とか得るのにも本当に苦労します。(60代男性)
  - ・本当に苦しく難しい。というのも、私が働けないという理由で私の娘が私の手元から連れていかれてしまった。だから本当に苦しい。状況はとても難しい。なぜなら、私は本当に娘を取り戻したい。(20代男性)
  - ・ものすごく困難。いつも友人たちから借りている。どうかお金の面で助けてください。お借りするという事です。(50代男性)
  - ・毎月1万円を私の妹から受けている。時々、友人たちからも。(40代男性)
  - ・アミーゴスがくださる食べ物と、わずかな給料で何とかやっている。時々、自分の国の人たちが何かをくれる。(30代男性)
  - ・友達から借りている。(50代男性)
  - ・すべてにおいて自分でやっていくしかない。(40代男性)
  - ・日本政府は仮放免者が働くことを許可していないし、私は公的援助を受けていない。家賃、交通費、食費など生活は難しい。今の私の状況は大変困難で危険です。私は15年以上母国に暮らす母と兄からお金を受け取っていましたが、母国からの送金は母が私の日本での生活費のために土地や家をすべて売ってくれた。現在母は重篤な病気で兄は10か月前にコロナで亡くなりました。
- 今、私の状況は大変危険です。お金もなく、生活のための沢山の借金があります。家主は家賃のことで5回も私を脅し、家賃を払わないと殺すと言ってカバンを外に放ったり、

私の体を押ししたりしました。その時、私は大けがをして、救急車で病院に行きました。(40代男性)

- ・将来何をできるかわからない。(50代男性)
- ・友人たちが時々助けてくれるので、生活に必要なものを買うことができる。(30代男性)
- ・教会に行って友人に助けを求めると2000円くらいくれる人もいます。神に助けを求めて祈るが、日本の現状は厳しい。日本政府が仮放免者への考え方を根本的に変えてくれる日がいつか来ると信じている。(50代女性)
- ・いつもは2人の日本人から援助を受けていたが、コロナ禍のために中止。幸いなことに友達がアミーゴスを紹介してくれて、アミーゴスが私と子どもたちの医療費を支払ってくれた。アミーゴスは5か月分の家賃と食糧支援パッケージに入っていない肉などを買うお金をくれた。プレッシャーが静まりました。長澤夫妻、〇〇さんたちのメンバーに祝福を。アミーゴスが救済活動を続けてくれることを祈っている。(40代女性)
- ・子どもを保育園に預けられるので働いているが、勤務時間を保育時間の兼ね合いで長期に働くことができない。(30代女性)
- ・人々を働かせてすべてを彼ら自身に支払わせるようにしなさい。それが支出に対しての国の負担を減らすことになる。(40代男性)
- ・簡単なことではないが、痛みを耐えるしかない。明日はよくなると願いつつ自分を勇気づけている。(40代男性)
- ・困難なことだらけで友人たちと？に助けをもらって生きている。(40代男性)
- ・政府は私の人生を悪夢のようにした。(50代男性)
- ・できない。(50代女性)
- ・友達や知人から借りています。(50代男性)
- ・本当に深刻な状況で、保証人、友人たち、教会は私の状態を知っているので、できる限り助けようとしてくれている。(40代男性)
- ・愛する人たちは食べたり飲んだりする必要のあるドライフードが得られる。非常に困っているからだ。(50代男性)
- ・私の以前の会社が家賃や食料の支払いの援助を一番いい時期の1年半の間してくれました。友達や同僚からお金を借りていました。(40代女性)
- ・人に物乞いをしに回るのが非常につらい。教会やアフリカの友人がずっと私を援助してくれていたが、友人らは私がいつもお願いに行くのにうんざりしており、それでイライラしてしまう。この状況で何とかやっつけようとするのはストレスがたまり、自殺したくなる。(50代女性)
- ・友人たちに頼む。好きではないが、お金をくれる人に期待する。もしくは自分のものを売る。(30代女性)
- ・病気の時にすぐ受診できず、薬局で薬を買えないので、友人に助けを求めなければならない。フードバンクなどから米はもらえるが、野菜がほとんど食べられない。日本食の食材

しか手に入らないので、自分の国の料理を食べられず、食生活が乱れて健康が守れない。  
あるものを食べるしかない。(30代女性)

- ・夫が年金で払ってくれる。(50代女性)
- ・教会の友人が時々わずかなお金をくれる。非常にわずかでは十分ではない。(50代男性)
- ・友達とアミーゴスが毎月お米を助けてくれる。(50代女性)
- ・仕事や保険はないので、生活はとても大変です。(30代男性)
- ・とても難しい。(30代男性)
- ・とても苦しい。(30代男性)
- ・友人に助けを求めるが、いつも得られるわけではなく難しい。友人を訪ねてもほとんどの場合、何も得られないまま帰ることになる。常に自殺願望がある。(50代男性)
- ・神に祈るだけ。食事や交通費などただただ切り詰めてしのぐしかない。選択肢がないのは辛い但他にどうしようもない。(40代不明)
- ・親切な日本市民の皆さんから施しを受ける。(40代男性)
- ・友達と時々家族に頼む。(20代その他)
- ・食べ物を買うお金がないとき、数時間飢えていて、他の欠乏に耐えられる。しかし、健康問題では、神に希望を置き、私を癒してくださるよう祈る。しかしながら、最近では難しい。何が間違っているのかわからない。私は健康を損ない、祈り続けている。(50代不明)
- ・ここ12年、お金が足りません。それまでは良い暮らしができ、貧しい人々を助けるなど充実した人生でした。今はあなたの慈悲にすがっています。神が私を助け、許し、この罰から救い出してくれることを望んでいましたが、我慢するしかありません。(60代男性)
- ・友達に助けてもらいます。(50代男性)
- ・いここから支援してもらっている。でも、いつまでもこの状況が続けていくことは恥ずかしいこと。まだ私は働き者です。自分の力で生きていきたい。国のやり方はとてもおかしいと思います。(40代男性)
- ・前の貯金から。(50代男性)
- ・なくなる前に家族に助けてもらう。(60代男性)
- ・時々友人からお金を借りる。(50代女性)
- ・私にとって本当に大変ですが、友達の何人かが助けてくれていて、その借金が積み重なって私にとって大きな問題になっています。(40代女性)
- ・それを耐えるのは難しい。具合が悪いときにすぐに病院に行けないので薬を買うだけ。医者に見てもらいたくてもお金がない。(50代女性)
- ・極めて困難。(30代男性)
- ・友人に常に援助を求めるのは非常に困難です。(40代男性)
- ・状況は非常に困難で厳しいです。家族や友人からよくお金を借ります。(50代男性)
- ・友人から借金。(50代男性)
- ・アミーゴスに食料、交通費、医療費を支援してもらっています。(60代男性)

- ・非常に難しいです。アミーゴスに助けてもらっています。  
助けてくれる代わりに私と寝ることを要求する男がいます。私たちがどのようにして生きているのかをお伝えするためです。(40代女性)
- ・私は働いていませんし、そのうえ働く権利也没有せん。(40代男性)
- ・自分たちと同じ人間を見捨て、特定の外国人を仕事から完全に締め出す日本の当局者たちの不誠実さによる困難を乗り越えようとひたすら耐えています。結論として、日本における外国人の苦難は政府とその主催者の発言である、と…。(40代男性)
- ・私はこの苦難に何とか耐えるようにしています。この災難を作り出しているのは日本の当局者なのです。幼少のころから現在と同じ枯渇状態の中に生きることを学んできましたし…。(50代女性)
- ・アミーゴスに医療支援してもらっている。現金は手に入れるのが難しい。(20代女性)
- ・志のあるボランティアに支援を求めます。(30代男性)
- ・友人に借りるか、アフリカに助けを求めるか。(年齢不明男性)
- ・善意の方たちの支援で。(40代男性)
- ・アミーゴスの支援を受けている。(20代男性)
- ・教会のある方たちに支援を求めます。(30代男性)
- ・友達にお金を貸してくれるように頼んでいるが、彼らもお金を持っていないときは待っている。私の支払いを支援してくれる団体を知らない(40代男性)。

## ②コロナの前と後で生活は苦しくなりましたか？その理由。

- ・義理のお母さんの仕事が減ってお金が無くなっているから。(30代女性)
- ・仕事できない。母国からも経済悪くなってお金送ることもできません。だから、この2年コロナのせいで生活がもっと厳しくなった。(50代男性)
- ・助けてくれる人たちの仕事なくなったり、もしくは短時間になっている。(50代男性)
- ・コロナ以前は入管に入っていたが、出てきたらコロナ騒ぎで混乱した。どこへ行けば良いのか、どうすれば良いのかわからなかった。(50代男性)
- ・(いいえ) 前と後ではかわらず苦しいです。(30代男性)
- ・奥さんの仕事が少なくなり家族も多くなって苦しい。(50代男性)
- ・友人もコロナで給料が減っているから借りにくくなった。(40代男性)
- ・コロナの影響で彼女は仕事クビになったので失業手当を受けてますが、金額はとても少なく、まだ仕事見つからないため、生活がとても大変です。(30代男性)
- ・いろいろな悩みが増えました。(50代男性)
- ・ボランティアへ行き来の制限。(50代男性)
- ・ボランティア団体のところに行けないため！(40代男性)
- ・コロナが怖くて、緊急事態宣言の行き来制限もあり、フードバンクなど、行きたいボランティアにも行けない。(30代男性)
- ・(いいえ) コロナ前から大変だったので、あまり生活が変わったという感じがなかったから。例) コロナ前から移動が制限されているなど。(20代女性)
- ・夫が他界したので。コロナが直接の原因ではない(ちょうどコロナ直前の時期だが)。(50代女性)
- ・自分たちにサポートする友人か親族にお金ないと私たちもらうサポート少なくなりました。(30代男性)
- ・妻がレストランで働いている。コロナの時は店が営業できず働けなかった。(30代男性)
- ・色々お金かかります。私はいま仮放免中、仕事できない。旦那さん一人、仕事、給料足りない。子供三人、生活費高い。コロナで夫の仕事が減ったので。(30代女性)
- ・いつも苦しいです。(30代男性)
- ・支えている方の給料の減額。(30代男性)
- ・息子から送ってくる金がたまに遅くなって。(60代男性)
- ・コロナに感染し、重症化して、生活パターンが苦しい。夫もコロナに感染し、一か月仕事を休んで収入が減って、いますごく苦しい状態となっている。(50代女性)
- ・(いいえ) 幸いにも夫の給料がそれほど変わっていないため、お金の面では以前と変わらない生活ができているので。(50代女性)
- ・支援の人、今あまりお金、前より少ない。(50代男性)
- ・友人や知人からお金を借りることが難しい時ある。(50代女性)
- ・借りることが難しくなった。(10代女性)

- ・妻と子の仕事が少なくなった。(60代男性)
- ・病気のこと。(70代男性)
- ・アルバイトができなくなりました。海外からの支援も遅れてます。(50代男性)
- ・苦しいです。(50代女性)
- ・コロナに夫婦で2月にかかったため、一気に生活が苦しくなりました。妻の仕事が休業になったため、かなり苦しくなった。(40代男性)
- ・はい、とても苦しいです。コロナ前は友達が食べ物と衣服を助けてくれたけど、今はとても苦しいです。(50代男性)
- ・もっと苦しくなっています。友達会えない、いろいろなところ (support places) 行けない。(50代男性)
- ・友達からもらうお金は前より大変になりました。(50代男性)
- ・今まで友人たちの助けで生活ができましたが、コロナの影響で仕事がなくなった友人が多くて困りました。(40代男性)
- ・今まで友達の助けで生活ができていましたが、コロナの影響で仕事がなくなった友達が多くて困りました。(50代女性)
- ・仕事が見つからない。支援団体もコロナ対応に追われており、支援を受けられないことも時々ある。毎月の生活費の変動が激しい。(50代男性)
- ・仕事が全然見つからない。支援団体もコロナ対応に追われており、支援を受けられないことも時々ある。毎月の生活費の変動が激しい。(40代女性)
- ・妻の仕事が少なくなって給料が減ってしまったため。(40代男性)
- ・(いいえ) アルバイトをしているから。(30代女性)
- ・出費。(50代男性)
- ・ほとんどの会社が従業員を減らして会社によっては黒人と働くことを受け入れていないので、仕事を見つけることはとても難しい。私を孤立させる人々と一緒にやっていくことはとても難しい。そのうえ、勤務時間や日数も減らされているので以前に比べて生活がとても厳しくなっている。(30代女性)
- ・私の奥さん、腎臓が悪い。(50代男性)
- ・すべてが高くなっている。(40代女性)
- ・何度も私は健康問題に直面している。私を「the abnormal exit of tissue or an organ」と「高血圧」から助けてください。(60代男性)
- ・まず、息子と私にビザがないので、コロナに関しての他の人たちがもらえる支援がもらえない。次に、日本人である主人はタクシー運転手で、コロナ禍で給料が激減して請求書を払えない。ほんの2、3の例を上記に記しましたが、私たちがどれだけの困難にいるかご理解いただけたと思います。(40代女性)
- ・コロナ以降、生活はより困難になった。色々なことが全部 slow、より難しい、より厳しく、大変になった。状況すべてが悪化した。でも、神様に何とかしてくださいと毎日祈っ



ている。

私は日本に住みたい。日本が大好きだから。日本で自分の将来が欲しい。いつかは結婚して自分の子どもも欲しい。神様のお力によって。アーメン。どうもありがとうございます。

(30代女性)

- ・ほとんど仕事がないから。(30代女性)
- ・仕事がないから。(30代男性)
- ・基本的にほとんど全員が窮地に追い込まれているので、誰かが私たちのような他の人に助けの手を差し伸べるのは、すごい難しい。(30代男性)
- ・はい。母は仕事がないし、助けは得られていない。私たちにビザがないからだ。父の収入しか請求書を払えない。(10代男性)
- ・難しくなりました。色々なものがもっと高くなった。油一瓶が前は198円だったのが今は258円!!卵も高くなった。全部が高くなった。(40代女性)
- ・仮放免者としては友人たちに頼るのですが、フルタイムの仕事がない人もいるし、一時解雇されている人もいます。だから、そういう人たちが私を助けたり、サポートしたりするのは難しいんです。いま、ある友人のところに厄介になっていますが、その人だって水光熱費を払うのにも苦しんでいるのです。(50代男性)
- ・前に1000円とか500円とかをくれて助けてくれた方たちも、こんども助けてくれるかというとなんなことはない。(60代男性)
- ・今はまだ私の娘は日本政府に連れていかれたままで、娘が帰ってくるまでは私の生活は大丈夫にはなりえない。(20代男性)
- ・そうです。理由は私を助けてくれる人たちが仕事なくなる!(50代男性)
- ・1つの場所から別の場所に移動するのが感染の恐れがあり嫌だ。でもそれ以上に仮放免者として働くことができないのがさらに辛い。(40代男性)
- ・1か月に15日しか働けてない。だから給料はごくわずか。(30代男性)
- ・いま、私の友達を持っていない!(50代男性)
- ・出かけるとき、場所やタイミングなどに気を付けなければならない。(40代男性)
- ・現在、私はコロナ感染(2021.8.16)後の治療で東京都立病院に行きましたが、病院では治療してくれず、お金がないことで私を侮辱しています。病院の医師が私の住所を間違え、書類を別住所に送ったので、どの自治体も私を助けてくれませんでした。私は全くお金がありません。(40代男性)
- ・仕事がないので滞在しているのは非常に難しい。(50代男性)
- ・コロナ禍では日本での生活は大変で助けが必要。(30代男性)
- ・友人たちはこれまで教会のサービスや母国の集まりの際にヘルプしてくれていたのですが、コロナ以降、以前のように気軽に集まれないことが辛い。(50代女性)
- ・友達からの大きな援助を失ったからです。入管法が変わり、人々が強制退去になると脅すし、前についていたパートタイムの仕事も失い、強いプレッシャーを感じている。しかし、

- 一方で、日本の病院も 100%支払わなければならない、とても高い。学費は市が払ってくれるのでかからなくなったが。ほとんどの食料が高くて本当にイライラする。しかし、アメリカが食料を送ってくれている。それは救い。(40代女性)
- ・ 人員を削減している会社が多いので、仕事を見つけられず大変苦しい。友人たちと会って過ごす貴重な時を持つことができない。勤務時間も削減されている。(30代女性)
  - ・ 私自身コロナにかかったり、人に移したりすることから自分を守らなければならないからです。(40代男性)
  - ・ コロナ禍の状況は凄まじく私の状態では感染しはしないかと恐れている。生きていることに感謝するのみ。(40代男性)
  - ・ 友人たちが職を失ったことで数々の困難に直面している。(40代男性)
  - ・ 人々は直接または間接的に影響を受けているので、以前に受けていたような支援は受けられない。(50代女性)
  - ・ 私を支えてくれた人々のうちでもコロナ禍で仕事を失くしている。コロナは誰にでも感染するわけだし、世界中すべてで全く大変な時となってしまった。(40代男性)
  - ・ 移った会社が廃業した。沢山の人が失業した。国内中で経済が落ち込んでいる。(40代女性)
  - ・ コロナ以前のノーマルな状況では、皆が互いに持てるものを分かち合うことができたが、コロナ以降、状況が一変した。今は辛うじて 1日 2回食事ができているが、家賃は払っていない。教会が閉まっており、友人の商売も廃業した。(50代女性)
  - ・ 助けを求めたが誰も働いていないし、友人たちに助けてくれと頼みにも行けない。糖尿病なので、人ごみのところには行けない。(30代女性)
  - ・ 前から働けないので自分自身はわからないが、助けを求めることもしづらくなった。(30代女性)
  - ・ 2019年〇月、難民申請却下異議申し立てが通らなかったため、RHQの援助がストップし、それ以降、生活が非常に厳しくなった。(50代男性)
  - ・ 仕事がなく、仮放免でとても大変。子どもがいて、学校にたくさんのお金がかかる。(50代女性)
  - ・ 仕事はできないから、金銭力もなく、生活はより大変になると思います。(30代男性)
  - ・ 友人などに会いに行けないのは非常に辛い。(30代男性)
  - ・ とても苦しい。(30代男性)
  - ・ 仕事がない。支援がない。(50代男性)
  - ・ 仮放免者には生活は厳しい。私だけではなく、すべての仮放免者にとって生きていくことが大変すぎる。(40代不明)
  - ・ 制限が多い。(40代男性)
  - ・ 多くの健康問題のため、生きることが困難で危険。(50代不明)
  - ・ 外に出るのが少しになりました。(50代男性)

- ・ビザがなくて自分の力でできないことがいっぱいあります。好きなごはん食べたい。でも、できない。どこか遊びに行きたい。でも、できない。自由ないから。毎日苦しい。(40代男性)
- ・病院のこと、薬のこと、ワクチンのこと、保険ないこと。(50代男性)
- ・コロナの前後で苦しさは変わらないが、コロナ後はよけいに苦しい。病院代も大変苦しい。(60代男性)
- ・夫の収入は減ってきている。たった28時間しか働くことができない。娘の学校の費用を工面することがとても難しくなっている。私は職がなく、娘は大学1年生で私たちは今本当に経済的に厳しい状況です。(50代女性)
- ・多くの会社が閉ざして人々が職を失った。(40代女性)
- ・息子は職がなく、夫はコロナのため以前と同じではない。お金がいつも足りない。(50代女性)
- ・極めて困難。(30代男性)
- ・多くの友人が失業し、私を援助することができなくなりました。(40代男性)
- ・制度と状況が本当に極めて厳しいです。(50代男性)
- ・妻が仕事を見つけるのが困難。(30代男性)
- ・頭痛が続き、疲労しています。(50代男性)
- ・仕事がないと生活は難しいです。とくに家族がありますので。(60代男性)
- ・社会生活がとても難しくなった。とても苦痛に感じています。(40代男性)
- ・世界中がこのパンデミックに襲われています。(40代男性)
- ・(いいえ)在留資格の喪失が大きな変化。(20代女性)
- ・私の現在の状況ではコロナにかかったらとても困難になるので、家から出られない。支援してもらえるボランティアに会いに行けない。政府は本当に我々を犬のように扱っている。(30代男性)
- ・滞在許可を失い、仕事を失い、住居を失った。(年齢不明男性)
- ・(不明)日本に来てから生活は常に困難だった。(30代男性)
- ・私の生活はとても大変です。仕事ができない、保険がない、コロナのことでお金もかかる(マスクやアルコール)。(60代男性)
- ・私は働けないので、友達が生活を支援してくれている。現在、彼らも仕事がないので困難な状況です。コロナのため、すべてにおいてどのように彼らが私を支援することができるでしょうか。(40代男性)

### ③いま困っていること・将来の希望や考えはありますか？

- ・仕事ができなくて、義理のお母さんも仕事が減っていて、お金がないことと、子どもたちが病気になっても、あまり病院に行けないこと。VISAがあるといいです。あれば仕事ができるから。(30代女性)
- ・早めにビザをもらって自分で仕事(リフォーム)やりたいので、子どもたちの将来を満足させたい希望です。この厳しい生活を早めに復活したい。(50代男性)
- ・いま生活のこと困っています。将来のことは普通に生活できたらいいなど。(50代男性)
- ・自由が欲しい。日本の法律や規則を守ったうえで。具合が悪い時に治療を受けたい。日本に住むことが許されるなら一生懸命自立して自分の生活を支えたい。家族をいつか持ちたい。子どもも欲しい。(50代男性)
- ・1日も早く在留許可が欲しい。仕事が欲しいです。日本人と結婚しているのに在留許可がない生活が続くとは思いませんでした。希望が持てないし、家族にも申し訳ない気持ちでいっぱいです。(30代男性)
- ・普通に日本で暮らしたいです。(40代女性)
- ・仕事ができない。収入がないので足腰の手術ができない。特に保健が必要。(50代男性)
- ・私の夫は平成30年12月7日の日に会社内で暴力により重度のケガをした。私は妻としてどうしても夫の介護が必要とします。私は夫のために日本国の在留資格が欲しいです。(50代女性)
- ・ビザがないので色々な面で不自由です。例えば保険に入れない。仕事ができない。他県やどこにも行けない等で、ある意味自由がないことです。(60代女性)
- ・奥さん病気で会社勤めできないので、自分が働いて稼ぎたい。(40代男性)
- ・アパートの支払いが遅れている。ガス止まっている。今月水代払わないと止められる。とても厳しいです。(30代男性)
- ・仕事ない。ビザない。保険ない。お金もない。色々の苦労しです。(50代男性)
- ・生活大変。法律のルールで仕事できない。なので、収入がない。食事も足りない。病気の時もお金ない。そろそろ冬になる。お金ないから暖かい服買えない。それが怖い。将来は新しいビザもらって新しい生活したい。ビザもらったら、資格認めて、仕事できて、生活できて、サラリーマンになりたい。  
私みたいな人がいたら、連れて行ってあげる。一生懸命仕事やりたい。  
すごい大変な今の生活。もらったものは大事にしてる。助けてください。ベトナムに親戚いない。ベトナムに帰りたくない。(20代男性)
- ・仕事と保険がないので生活が苦しいです。(50代男性)
- ・はい、困っています。仕事とビザをお願いします。(30代男性)
- ・仕事をできず、金銭力はありません。保険は入れないから医療的な保障もなく体が痛いばかりです。(40代男性)
- ・私には日本に来てからほとんど無理ばかりの生活なので、将来や希望という言葉は意味が

- ないです。(60代男性)
- ・とても絶望です。(30代男性)
  - ・ずっと日本で暮らしたい。(60代女性)
  - ・就活が迫っているので、どうすれば良いのかわからないです。(20代女性)
  - ・アルバイトができないからといって、高校卒業後、親に頼りたくない。(10代女性)
  - ・住民票(住民登録)がないこと。  
学齢期の子どもの何かの手続き、携帯電話、NHKなど事あるごとに手続きが必要で、対応に時間がかかる。(50代女性)
  - ・将来と希望はあります。でも、それをするために金が必要です。私たちはお金なく、仕事する許可なく、困ります。(30代男性)
  - ・安定している場所に住みたいです。色々な困っている人たちにできるだけ助けてあげたいです。(30代女性)
  - ・働きたい。(30代男性)
  - ・希望、日本残りたい。家族一緒に暮らしたい。ビザ申請したい。(30代女性)
  - ・お金がない。何もできない。今のシェルターは12月までです。普通に暮らして、お金をもらって生活やりたい。仕事したい。そして、収容しないでくださいね。(30代男性)
  - ・入管の問題を解決すること。(30代男性)
  - ・とにかく動くができるようになって保険に入って病気が治りたいです。(60代男性)
  - ・一日も早く元の資格を取り戻したい。そして普通の生活をしたい。(50代女性)
  - ・健康保険に入れないため、医療費などの心配があります。今の希望は一日でも早くこの状態から抜け出して普通の生活をこのまま夫と二人で送りたいと思っています。(50代女性)
  - ・希望、早く、在留資格取り、日本で働いて、生活する。(50代男性)
  - ・できればビザをもらって日本で暮らしたい。(50代女性)
  - ・生活のお金。ビザをもらって仕事をして日本で暮らしたい。(50代男性)
  - ・できればビザをもらって仕事をして日本で暮らしたい。(10代女性)
  - ・ビザが欲しいです。ビザがなくとも仕事ができるようにしたい。(50代男性)
  - ・ビザを取得したい。(60代男性)
  - ・難民ビザをもらうこと。まともな仕事をしたい。日本の社会と一緒にになりたいです。(50代男性)
  - ・歯と骨、治したいです。(50代女性)
  - ・ビザが欲しい(現在、難民申請中)。(40代男性)
  - ・働く許可が欲しいです。(40代女性)
  - ・私にとっての大きな問題は健康保険のこと。ほかの難民申請者に就労許可を与えてほしいし、私も働きたい。(50代男性)
  - ・母国にいる子供たちの命と生活について、とても心配です。ここ日本にも、結婚などの件

で外国人として色々困っています。(40代女性)

- ・ビザが出てほしい、はやく仕事したい。自分のものが欲しい。普通の生活を送りたい。他の人を助けたい。日本で暮らしたい。(50代男性)
- ・健康保険に入れず病院に行きたくても行けないので、保険に入りたいです。送っていただいたマスクや消毒液、とても助かっています。感謝しています。ありがとうございます。(40代男性)
- ・一番困っていることが生活費です。他人に頼るより自分で仕事したい。だから難民許可いただけるのが私の希望です。(40代男性)
- ・こどもが生まれたのに働けない。奥さんも40歳超えるのでビザもらって働きたい。(40代男性)
- ・一番困っていることが生活費です。他人頼りより自分で仕事したいです。だから、難民許可いただけるのが私の希望です。(50代女性)
- ・とにかく1日でも早く正規の在留資格が欲しい。働きたい。貧困から抜け出したい。ずっと他人に頼るのではなく、自立して自分の力で生活したい。(50代男性)
- ・とにかく1日でも早く正規の在留資格が欲しい。働きたい。貧困から抜け出したい。ずっと他人に頼るのではなく、自立して自分の力で生活したい。(40代男性)
- ・働けないこと、保険がないこと。子どもが大学生になるので助けたいと思う。(50代男性)
- ・ビザがないから働くことはできないし、生活保護も受けられないし、お金がなくて、すごく生活に困っています。助けてくれる支援団体も知らないなので、アミーゴスさんで食料など送ってもらったらすごくありがたいです。よろしくお願いします。(40代男性)
- ・将来ベトナムに帰りたいです。(30代女性)
- ・私の夫は会社内で事故によるけがをしております。一刻も早く日本の国の在留資格を、夫が、体が不自由のために早く日本人妻になりたいです。夫はどうしても私の介護が必要としますので、体の全体のしびれや排せつ機能障害や歩行困難、すべての関節が痛い。原因は頸椎損傷のために。(50代女性)
- ・もし可能なら、仮放免ではなく、私の国に帰って息子に会いたい。すべての支援者に感謝します。
- ・私のいる県でより安い家に住めるように手伝ってほしい。そうすれば、家賃や他の支払いも減額されるでしょう。そして、専門医を探す手伝いをしてくれたら私の健康状態を継続して見てもらえるでしょう。私は3年近くこの痛みに苦しめられています。それに加えて、無料で日本語を学ぶにはどうしたらよいか教えてください。そして最後に、私の滞在資格を変えることと私の状況を考慮したうえでの良い仕事を探す手伝いをお願いします。(30代女性)
- ・私の問題は、奥さんの腎臓に大きな病があること。仕事できるように頑張りたいけど。(50代男性)
- ・経済的危機と健康問題で苦しんでいる。つぎになにが起こるかわからない。私はいつも日

本政府から良いこと、私の将来の費用、入院の問題を期待しています。迅速な対応を待っています。(60代男性)

- ・私の手術に支援が必要です。私は病んでいて、日ごとに悪くなっています。医者には6か月以内に手術するようと言われていて、私には保険がないので、ひどく多額になる。息子も胸の痛みがあり、毎月チェックする必要があるのに、そんなに毎月は医者に連れていけない。やはり、保険がないからだ。現実的に言って、私たちの健康が最優先です。将来の希望としては、私の家族の生活水準が上がってほしい。健康チェックもちゃんとしたい。より良い生活がしたい。私も仕事をしたい。そうすれば主人が請求書を払うのを手助けできる。息子にも必要なだけよい教育を受けさせたい。読んでくださってどうもありがとう。(40代女性)
- ・金銭的サポート。(30代女性)
- ・金銭的サポート。(30代男性)
- ・頭の手術が必要だが、十分なお金がないので、そのための金銭的サポートが必要です。この偉大な国の入管のシステムは欠陥があると思います。法律を作る人たちにそれを気付いてほしい。そして、法律を改正して、国際社会に準じるようにしてほしい。(30代男性)
- ・はい。母に病院に連れて行ってもらう必要がある。両親が私の世話を良くできるようになってほしい。私の学校での必要や、宿題を助けてくれる先生や、スポーツ活動などのお金があれば私の学校の成績も改善できるのに。母に学校の勉強を手伝ってもらうのはとても難しいんです。母は日本人ではないからです。読んでくださってありがとうございます。(10代男性)
- ・はい。今すぐに必要なサポートは家賃です。私の思いと将来に望むことは日本政府が寛大になって仮放免者が日本に滞在できるように恩恵を与えてほしい。(40代女性)
- ・今差し迫って必要なのは、私一人の部屋が必要なのと、水光熱費を支払うサポートです。政府が私たちが自由に動けるようにしてほしいし、いくらかでも働ける時間の許可もしてほしい。そうすれば、自分たちのことは自分たちで世話できるようになる。(50代男性)
- ・種々雑多なものに使うお金や病院にかかるお金。冬が近くなっている今、冬の服や靴を買うお金も必要。今ですら、サンダルも持っていない。スープを作るための小さな物を買うお金。私が買う必要のある物をこうやって書くことに恥を感じます。(60代男性)
- ・あなた方ができるどんな方法をも使ってください私をサポートしてほしいです。そして、特にあなた方のお力で私の娘が今置かれている場所から私のもとに戻ってこられるように助けていただけるのなら本当に感謝します。娘が置かれているところは娘にとっていい場所ではないのです。どうか助けてください。ありがとうございます。(20代男性)

- ・いま、アミーゴスから受けている素晴らしいサポートにとても感謝しています。今すぐ必要なサポートは心臓と血液のチェックです。というのは、すごくお金がかかって、私にはそんなお金はありません。助けてもらえるなら本当に感謝します。どうもありがとうございます。(40代男性)
- ・私がここに来て以来、私のためにいろいろしてくださった日本の方々にお礼を申し上げます。ここで働きたいですし、手に職を付けたい。そして、自分のことをきちっと世話できるようにしたい。そうすれば、もし私が自国に帰ることになったときには他の人たちをトレーニングできる。(30代男性)
- ・助けが必要です！(50代男性)
- ・歯の治療費の補助が欲しい。(40代男性)
- ・今すぐにお金、家賃、食料、医療が必要です。健康のための良い扱いを受けたいです。(40代男性)
- ・日本で働けるように公的なサポートを探している。働いて健康でいて日本で生活していきたい。ビザがとれるよう入管に助けてもらいたい。(50代男性)
- ・ここで働いてきた経験に対してもらう金額が少ない。(30代男性)
- ・食料など生きていくための買い物や交通費などのお金が必要。(50代女性)
- ・家賃と子供の学費の支援が必要。支援を受けられるところと仕事がなく、支払うのが難しいからです。(40代女性)
- ・家賃など請求金額が減らせるよう住んでいるところで、より安い賃料の住まいを探せるように助けてほしい。長い間痛みを抱えているので、私の健康状態をずっと見てくれる専門家を紹介してほしい。日本語を無料で手軽に習えるよう援助してもらいたい。ビザのステータスを変更して、私の条件に見合う良い仕事を見つけられるよう、最終的には支援してください。(30代女性)
- ・日本人女性を8年間配偶者とし、労働許可もビザもない人間が日本で普通の生活を送り、将来的に希望を持てる家庭を築ける自由が欲しいと望むだけだ。(40代男性)
- ・6年間の医薬品と食糧の提供にご協力いただきありがとうございます。また、子供たちが住むための収入源を作るためのご支援をお待ちしております。(40代男性)
- ・2人の娘の経済的援助が必要。1人は大学生で2人目は専門学校に行く予定。(50代女性)
- ・教育と健康。子どもたちは大学への進学を希望していますが、お金が十分ではありません。2番目の子どもは来年高校を卒業します。そして、お金が必要です。1人目の子どもは？の病気です。私たちは妻が4年前に手術を受けたので60万円の病院の支払いを抱えています。病院の支払いを助けてください。(50代男性)
- ・私の当面の必要性は食料品です。食べ物、服、医療など、いつもサポートしてくれている「amigos」に心から感謝しています。彼らが「仮放免」の人々を支え続けてくれることを願っています。皆様のご愛顧に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。(40代男性)



- ・少しお金が欲しい。ちょっとしたパートタイムの仕事がしたい。(50代男性)
- ・現在、4か月分の家賃を払っていない。食事のためのお金も借りる必要があります。すぐにでも家賃や生活費の援助があると助かります。(40代女性)
- ・家賃と生活費のサポートが欲しい。  
私の考えは、政府がビザを出してくれれば、私は働いてこの国に貢献できるということ。私は体が丈夫なので、どんな仕事でもできる。いつも私（私たち仮放免者）にお金を配るというのは良い考えではない。在留資格があれば、私は仕事ができ、税金を納めることができる。  
私の希望は、ビザと正式な在留資格を取得すること。これで解決する。政府がこの国の移民という問題にきちんと対応してくれるよう祈る。(50代女性)
- ・こちらで一緒に暮らせないのなら、娘の学費をどうしても払い終えたい。  
将来は学校に戻りたい。(30代女性)
- ・支払いが難しい。アパートの家賃の援助。助けてほしい！おねがい！(50代女性)
- ・在留資格がないので働けない、お金がない、食べたいものやりたいこと色々あっても実現できない。(30代男性)
- ・冬服がない。食料は入手困難。(50代男性)
- ・RHQ からサポートが得られ、自分の家賃を自分で払うことができればと思う。現在は、夫が私の家賃を払っており（その点は微妙、何かを言うわけではないが）、私としてはこれでよいとは思わない。(40代不明)
- ・在留資格の変更が必須。(40代男性)
- ・二つの主要な手術のためのお金と毎月の家賃の支払いのためのお金が必要。(20代その他)
- ・適切な健康診断と家賃の援助が必要。神が政治家たちの心に触れて、彼らが私のたどってきた道を考えて、状況をよくしてくれることを願っている。(50代不明)
- ・日本では一時期非常に恵まれ、エレクトロニクス・電気製品の分野では十分な知識があります。もし夢を叶えるチャンスが与えられるなら、電子・電気機器のビジネスや部品輸出業を立ち上げる準備をしたいです。(60代男性)
- ・日本にもっと長くいたいです。(50代男性)
- ・将来のこと考えました。自力で会社を立てたい。この国の役に立ちたい。少しでも力になりたい。好きなことやりたい。周りの人たちに良い印象を残したい。立派な人になりたい。  
(40代男性)
- ・頑張ります。保険証、お願いします。(50代男性)
- ・病院代が高額（保険が効かない）。生活費が足りない。(60代男性)
- ・どうぞ娘の学費の支払いを助けてください。本当に困っています。援助に感謝します。(50代女性)
- ・住むところについて助けてほしい。(40代女性)
- ・ビザが欲しい。そうすれば借金を払うことができ、病気を治すこともできる。病院と薬を

手に入れる助けが欲しい。(50代女性)

- ・私は目の病気ですぐにでも医師に診てもらいたいです。失明するのではないかと非常に心配です。腎臓も見てもらえると嬉しいです。

日本語を学ぶ場所が欲しいです。言語もそうですが、能力開発のために何かを学びたいです。本当にありがとうございます。(50代男性)

- ・友人や家族から借金をしています。(30代男性)
- ・生まれたばかりの赤ちゃんにオムツその他の支給。(30代男性)
- ・自分で生活していけるようになるまで、できればずっと支援していただきたい。(50代男性)

- ・はい、生活は非常に厳しいです。今のところ、在留資格を奪われ、妻も私も働けません。そのうえ、勉強している娘がいますが、その学業を支えることができません。日本政府に私たちのケースを見直していただき、在留許可を人道的な観点からでも出していただけるよう要望したい。(60代男性)

- ・私はこの国で役に立つ人になりたい。なぜなら私は日本の発展に貢献しなければならないから。(40代男性)

- ・逃亡してきた難民として、私はまず、日本政府が1951年の難民の地位に関するジュネーブ条約について、1982年に行った公約を遵守することを希望している。私が望むのは、日本政府が良い方向に舵を取ることである。かつて日本人もブラジルに難民として受け入れられたのだし、アメリカやヨーロッパのように同じ人間として難民に気配りをする国を日本は見習うべきである。なぜなら、外国における日本のイメージは汚されているからである。日本はまず過ちを認め、難民の観点からすべての人に批判されている制度を変える必要がある。こういうことが二度と行われぬように。完全な差別で…移民問題について完全に無能である。したがって、日本の入国管理局の職員にリサイクルの研修を行う必要がある。この問題については非常に低レベルなのだから。(40代男性)

- ・日本の政府当局の差別のせいで、私はとても難しい状況に置かれています。それは入管当局に発端がある、成せることをすべて禁止されているから。住んでいる県以外に移動することも含めて。

日本政府当局者は、仮放免者として日本で生活する外国人すべてに対する差別的な禁止を全部撤廃してほしいという私たちの要望を真摯に受け止めることを願います。日本に生きる外国人を助け、働く機会を与えて自分で自分の面倒を見られるようにすること。現在のやり方では、税金や所得税を支払わないから、日本経済に貢献しておらず、とても悪い制度です。(50代女性)

- ・はい、夢があります。ビザをもらうこと。ビザをもらって働いて子どもを支えたいと思っています。(20代女性)
- ・私は戦争の国から来ています。日本に来たのは日本政府が世界に対して、戦争をしている国からきた人を助けるという公約をしているから。日本政府は1951年のジュネーブ条約

をほかの 154 か国と締結したのだから、約束を守り、難民を動物のように扱うのをやめるべきです。(30代男性)

- ・私の月、もしくは年間の収入は0円です。なぜならいっしょに暮している人たちは金銭的には手伝ってくれないからです。

私の意見では日本は外国人のステータスを見直すべきである。社会的にとっても困難だ。(年齢不明男性)

- ・日本政府が自国領土で同じ人間を苦しい目に合わせるといふ悪しき慣行をやめること。すぐにでも仮放免制度を廃止されますことを。(40代男性)
- ・私は運転を習いたい。日本語を習いたい。大学に戻って何年か勉強したい。(30代男性)
- ・すぐに病院に行くためのサポートが必要。アパートも家賃も必要です。助けてほしい。(60代男性)
- ・いつか仕事ができるようにビザが欲しい。友達も仕事がないので、月々の支払いのための少額のお金を援助してくれる団体があれば嬉しい。私も他の人々のように生活したい。(40代男性)

(2) 調査票

①日本語

②英語

③フランス語

④スペイン語



かりほうめんしゃ せいかつじつたい あんけーと  
仮放免者 生活実態アンケート

Kari hōmen-sha seikatsu jittai ankēto

かりほうめんしゃ せいかつ かいぜん おこな あんけーと  
仮放免者の生活を改善するために 行うアンケートです。

Kari hōmen-sha no seikatsu o kaizen suru tame ni okonau ankētodesu.

なまえ など 個人情報 は 匿名 にして 外部 に出しません。ご安心ください。

Namae nado kojinhō wa tokumei ni shite gaibu ni dashimasen. Go anshin kudasai.

きょうりょく を お願ひ します。

Go kyōryoku o onegaishimasu.

◆あなたの年齢は？ Anata no nenrei wa?

- ～9 歳      10～19 歳      20～29 歳      30～39 歳      40～49 歳  
50～59 歳      60～69 歳      70 歳～

◆あなたの性別は？ Anata no seibetsu wa?

- 男 otoko      女 onana      その他 sonota

◆あなたの国籍は？ Anata no kokuseki wa?

( )

◆日本に何年暮らしていますか？ Nihon ni nan-nen kurashite imasu ka?

( ) 年

◆仮放免になってから何年ですか？ Kari hōmen ni natte kara nan-nendesu ka?

( ) 年

◆何人暮らしですか？ Nan-ri gurashidesu ka?

( ) 人

◆誰と一緒に住んでいますか？ Dare to issho ni sunde imasu ka?

(例：1人暮らし、子2人と、友人たちと) (Rei: 1-Ri gurashi, kodomo 2-ri to, yūjin-tachi to)  
( )

◆あなたの生活状況は？ Anata no seikatsu jōkyō wa?

とても苦しい Totemo kurushī     苦しい Kurushī     普通 Futsū

余裕がある Yoyūgaaru     とても余裕がある Totemo yoyūgaaru

◆あなたの食事の状況は？ Anata no shokuji no jōkyō wa?

とても苦しい Totemo kurushī     苦しい Kurushī     普通 Futsū

余裕がある Yoyūgaaru     とても余裕がある Totemo yoyūgaaru

◆1日の食事の回数は？ 1-Nichi no shokuji no kaisū wa?

0回     1回     2回     3回以上

◆家賃の支払いは？ Yachin no shiharai wa?

とても苦しい Totemo kurushī     苦しい Kurushī     普通 Futsū

余裕がある Yoyūgaaru     とても余裕がある Totemo yoyūgaaru

◆家賃は何円ですか？ Yachin wa nan-endesu ka?

( ) 円

◆<sup>やちん</sup>家賃の<sup>たいのう</sup>滞納はしていますか？ Yachin no tainō wa shite imasu ka?

はい Hai → <sup>たいのうきかん</sup>滞納期間は ( ) か月<sup>げつ</sup> Tainō kikan wa ( ) kagetsu

<sup>たいのうきんがく</sup>滞納金額は ( ) 円<sup>えん</sup> Tainō kingaku wa ( ) en

いいえ Iie

◆<sup>がす</sup>ガス<sup>こうねつすいひ</sup>光熱水費の<sup>たいのう</sup>滞納はしていますか？ Gasu kōnetsusuihi no tainō wa shite imasu ka?

はい Hai → <sup>たいのうきかん</sup>滞納期間は ( ) か月<sup>げつ</sup> Tainō kikan wa ( ) kagetsu

いいえ Iie

◆<sup>おかね</sup>お金がなくて<sup>びょういん</sup>病院に行けないことがありますか？ Okane ga nakute byōin ni ikenai koto ga arimasu ka?

はい Hai →  よくある Yokuaru  たまにある Tamaniaru

いいえ Iie

◆<sup>ちりょうひ</sup>治療費の<sup>しはらい</sup>支払いは？ Chiryō-hi no shiharai wa?

とても<sup>くる</sup>苦しい Totemo kurushī  苦しい<sup>くる</sup> Kurushī  普通<sup>ふつう</sup>Futsū

余裕<sup>よゆう</sup>がある Yoyūgaaru  とても<sup>よゆう</sup>余裕がある Totemo yoyūgaaru

◆<sup>いま</sup>今、<sup>ちりょう</sup>治療している<sup>けが</sup>ケガや<sup>びょうき</sup>病気は何<sup>なん</sup>ですか？ Ima, chiryō shite iru kega ya byōki wa nanidesu ka?

(例：<sup>れい</sup>高血圧、<sup>こうけつあつ</sup>腰痛、<sup>ようつう</sup>糖尿病、<sup>とうにょうびょう</sup>糖尿病) (Rei: Kōketsuatsu, yōtsū, tōnyō-byō)

( )

◆<sup>びょういん</sup>病院に行けないけれども、<sup>おかね</sup>お金があれば<sup>みて</sup>診てもらいたい<sup>けが</sup>ケガや<sup>びょうき</sup>病気はありますか？

Byōin ni ikenakeredomo, okane ga areba mite moritai kega ya byōki wa arimasu ka?

はい Hai → ( )

いいえ Iie

◆服ふくやくつくつをかうかねおかねは？ Fuku ya kutsu o kau okane wa?

とてもくるしい Totemo kurushī      苦くるしい Kurushī      普通ふつうFutsū

余よゆう裕ゆうがある Yoyūgaaru      とても余よゆう裕ゆうがある Totemo yoyūgaaru

◆生理用品せいりようひんをかうかねおかねは？ Seiri yōhin o kau okane wa?

とてもくるしい Totemo kurushī      苦くるしい Kurushī      普通ふつうFutsū

余よゆう裕ゆうがある Yoyūgaaru      とても余よゆう裕ゆうがある Totemo yoyūgaaru

◆子こどものきょういく教か育いくにかけるかねおかねは？ Kodomo no kyōiku ni kakeru okane wa?

とてもくるしい Totemo kurushī      苦くるしい Kurushī      普通ふつうFutsū

余よゆう裕ゆうがある Yoyūgaaru      とても余よゆう裕ゆうがある Totemo yoyūgaaru

◆携けい帯たい電でん話わをつかうかねためのかねは？ Keitaidenwa o tsukau tame no okane wa?

とてもくるしい Totemo kurushī      苦くるしい Kurushī      普通ふつうFutsū

余よゆう裕ゆうがある Yoyūgaaru      とても余よゆう裕ゆうがある Totemo yoyūgaaru

◆交こう通つう費ひにつかうかねためのかねは？ Kōtsū-hi ni tsukau tame no okane wa?

とてもくるしい Totemo kurushī      苦くるしい Kurushī      普通ふつうFutsū

余よゆう裕ゆうがある Yoyūgaaru      とても余よゆう裕ゆうがある Totemo yoyūgaaru



◆友人や知人、親族、支援団体などから借りているお金はありますか？

Yūjin ya chijin, shinzoku, shien dantai nado kara karite iru okane wa arimasu ka?

はい Hai → ( ) 円

いいえ Iie

◆お金や食料、医療費など生活を支援してくれる人・団体はいますか？

Okane ya shokuryō, iryō-hi nado seikatsu o shien shite kureru hito dantai wa imasu ka?

はい Hai → ( )

いいえ Iie

◆仮放免者は国から働いてはいけないとされています。また、生活保護のような公的保障

を受けることもできません。お金がなく、生活に困ったとき、どう対処していますか？

Kari hōmen-sha wa kuni kara hataraitte wa ikenai to iwa rete imasu. Mata, seikatsu hogo no yōna kōteki hoshō o ukeru koto mo dekimasen. Okane ga naku, seikatsu ni komatta toki, dō taisho shite imasu ka?

◆<sup>ころな まえ あと せいかつ くる</sup>コロナの前と後で生活は苦しくなりましたか？

Korona no mae to atode seikatsu wa kurushiku narimashita ka?

- はい Hai  
いいえ Iie

<sup>りゆう</sup>理由(Riyū)

◆<sup>ひとり げっしゅう</sup>あなた一人の月収は？ Anata ichi-ri no gesshū wa?

※<sup>きゅうりょう</sup>給料だけではなく、<sup>ゆうじん ちじん しえんだんたい</sup>友人や知人、支援団体などからもらった<sup>かね ふく</sup>お金も含みます

※ Kyūryō dakede wa naku, yūjin ya chijin, shien dantai nado kara moratta okane mo fukumimasu

- 0円      ～1万円      ～3万円      ～5万円      ～7万円  
～9万円      ～11万円      ～13万円      15万円      ～17万円  
～19万円      ～21万円      ～23万円      ～25万円      27万円～

◆<sup>いっしょ</sup>一緒に暮らしている<sup>ひとぜんいん</sup>人全員を合わせた<sup>あ</sup>月収<sup>げっしゅう</sup>は？ Issho ni kurashite iru hito zen'in o awaseta gesshū wa?

- 0円      ～5万円      ～10万円      ～15万円      ～20万円  
～25万円      ～30万円      ～35万円      ～40万円      ～45万円  
～50万円      ～55万円      ～60万円      ～65万円      70万円～

◆あなた一人の年収は？ Anata ichi-ri no nenshū wa?

- 0円      ～30万円      ～60万円      ～90万円      ～120万円  
～150万円      ～180万円      ～210万円      ～240万円      ～270万円  
～300万円      ～330万円      ～360万円      ～390万円      420万円～

◆一緒に暮らしている人全員の年収は？ Issho ni kurashite iru hito zen'in no nenshū wa?

- 0円      ～50万円      ～100万円      ～150万円      ～200万円  
～250万円      ～300万円      ～350万円      ～400万円      ～450万円  
～500万円      ～550万円      ～600万円      ～650万円      700万円～

◆いま困っていること・将来の希望や考えはありますか？

Ima komatte iru koto shōrai no kibō ya kangae wa arimasu ka?

ご協力ありがとうございました。

Go kyōryoku arigatōgozaimashita.

北関東医療相談会AMIGOS

Kitakantō iryō sōdan-kai



## 謝辞

「仮放免者生活実態調査」は、アンケートに答えてくださった仮放免者の方、アンケートの配布をお手伝いしてくださった仮放免者の方・外国人支援者の方、アンケートの翻訳を行ってくださったボランティアの方、その他多くの方のご支援をいただき、実施することができました。皆様のお力がなければ、仮放免調査を実施し、報告することはできませんでした。改めて皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

調査票の自由記述欄では、仮放免者の方々が、記入欄をはみ出しながら、仮放免者の方々が日頃から抱えている切実な思いを書いていました。この日本社会で小さくされてしまっている仮放免者の方々の思いがそこに示されていました。そうした仮放免者の方々の思いを無駄にしてはいけません。私たちは、この仮放免調査で示されたことを踏まえ、引き続き活動してまいります。